

## 平成30年度第2回鳥取県総合教育会議資料

## 資料1-1

平成30年度全国学力・学習状況調査 鳥取県の結果及び今後の対応について  
..... 1

## 資料1-2

学力向上推進プロジェクトチームの設置について ..... 5

## 資料1-3

平成30年度全国学力・学習状況調査 鳥取県の概要 ..... 7

## 資料1-4

平成30年度全国学力・学習状況調査 地域別結果の概要 ..... 27

## 資料1-5

【小冊子】算数・数学の授業づくり ..... 35

## 資料 2

ふるさと教育の推進について ..... 47

## 資料 3

次期『鳥取県の「教育に関する大綱」』の方向性について（案） ..... 63

## 資料 4

県立美術館整備の検討状況について ..... 65

元気づくり総本部とっとり元気戦略課

教育委員会教育総務課



平成30年9月10日

小中学校課

平成30年4月17日(火)に実施した全国学力・学習状況調査については、平成30年7月31日(火)に文部科学省から調査結果が公表されました。本県の調査結果概要及び今後の対応は次のとおりです。

## 1 調査結果の概要

### (1) 全国平均との比較 (平均正答率[%])

	国語A		国語B		算数・数学A		算数・数学B		理科	
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)
小学校6年	71	70.7	55	54.7	62	63.5	50	51.5	60	60.3
中学校3年	76	76.1	60	61.2	66	66.1	45	46.9	66	66.1

#### <国語>

小学校：A問題（主として知識に関する問題）、B問題（主として活用に関する問題）とも全国平均と差は見られなかった。

中学校：A問題は全国平均と差は見られなかったが、B問題では全国平均を下回った。

#### <算数・数学>

小学校：A問題、B問題ともに全国平均を下回った。

中学校：A問題は全国平均と差は見られなかったが、B問題では全国平均を下回った。

#### <理科>

小中学校ともに全国平均と差は見られなかった。

### (2) 各教科の特徴

- 国語については、小学校は「文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く」等について、中学校は「目的に応じて、文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く」「相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く」等、読解力・表現力に課題が見られた。
- 算数・数学については、小学校は「円の直径と円周の長さの関係」「合同な図形を敷き詰めてできる図形を見つける」等、基礎・基本となる知識・技能の確実な習得とその活用に課題が見られた。中学校は、「計算結果が4の倍数になる理由の説明」「ダイアグラムから必要な情報を読み取り、道のりを求める」等、思考力・表現力に課題が見られた。
- 理科については、小学校は「自分の考えと異なる他者の予想を基に考える」等、中学校は「実験の過程を振り返り、新たな問題を見いだす」等、思考力に課題が見られた。

### (3) 質問紙調査結果と教科に関する調査における平均正答率との関係（以下の項目で肯定率が高い児童生徒は平均正答率が高い傾向が見られた。）

- ・ 学校の規則を守る等、規範意識の高い児童生徒
- ・ 朝食摂取、起床時刻等、基本的な生活習慣が確立されている児童生徒
- ・ 学習習慣を身に付け、一定の家庭学習等の時間を確保している児童生徒
- ・ 家の人と学校での出来事について話をする等、家庭内でのコミュニケーションが図られている児童生徒
- ・ 地域や社会に対する関心の高い児童生徒

### (4) 地域別・市町村別の状況（別冊資料）

- 地域別結果については、明らかな地域差は見られなかった。
  - ・ 小学校では、中部地域は、3教科5区分全てで全国と差がないか上回る結果であったが、東部地域は算数A、理科で、西部地域は国語Aを除く4区分で全国を下回り、それぞれ課題が見られた。
  - ・ 中学校では、西部地域は、3教科5区分全てで全国と差がない結果であったが、東部地域は国語A問題を除く4区分で全国を下回り、中部地域は国語B、数学Bで全国を下回り、両教科の主に活用に関する問題に課題が見られた。
- 市町村別結果については、教科ごとに市町村間で差が見られた。
  - ・ 小中学校ともに学力調査の結果と質問紙調査「授業内容がよく分かる」項目については、概ね相関が見られた。
  - ・ 算数・数学Bの調査結果と質問紙調査「算数・数学で学習したことを生活の中で活用できないか考える」項目についても、概ね相関が見られた。

## 2 今後の対応

### (1) これまでの取組、成果

#### ① これまでの取組

- 少人数学級指導による個に応じた指導の充実
- エキスパート教員認定制度、教科でつながら小中連携授業力向上支援事業、小学校理科教育パワーアップ事業等の実施による教員の指導力向上や学校全体での授業改善の推進
- とりっこドリルの活用による基礎的・基本的な知識・技能定着に向けた取組
- 教員向け・保護者向けリーフレット作成・配布等による学校・家庭が連携した取組の推進

#### ② 成果

- 中学校の数学A問題では、昨年度は全国平均を下回っていたが、今年度は改善がみられた。各学校で基礎的・基本的事項の定着を図る授業改善が進められたと考えられる。
- 小中学校ともに、「友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」という肯定的な回答が全国平均と比べて高く、各学校で「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善が進められていることがうかがえる。
- 小中学校ともに、「自分にはよいところがある」という肯定的な回答の割合が経年比較したなかで最も高く、自己肯定感の醸成が図られていることがうかがえる。

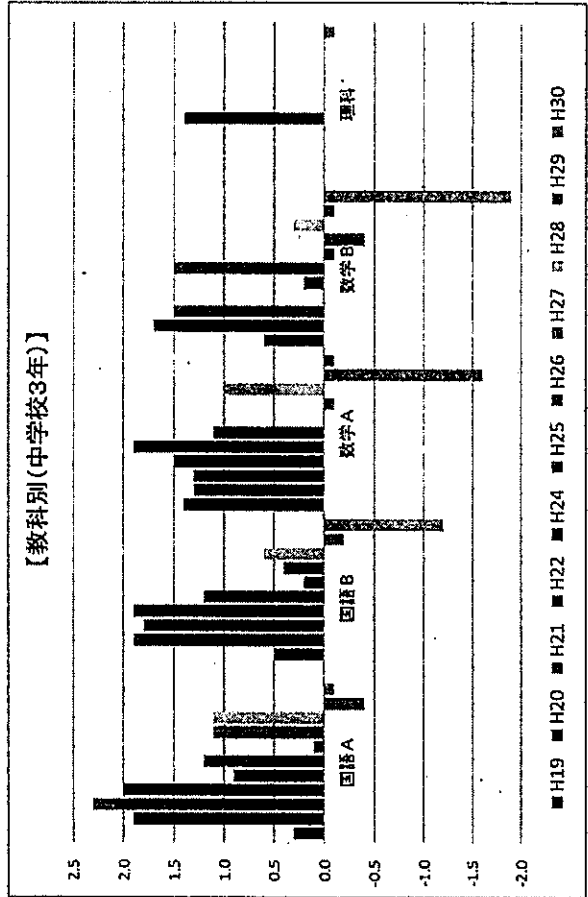
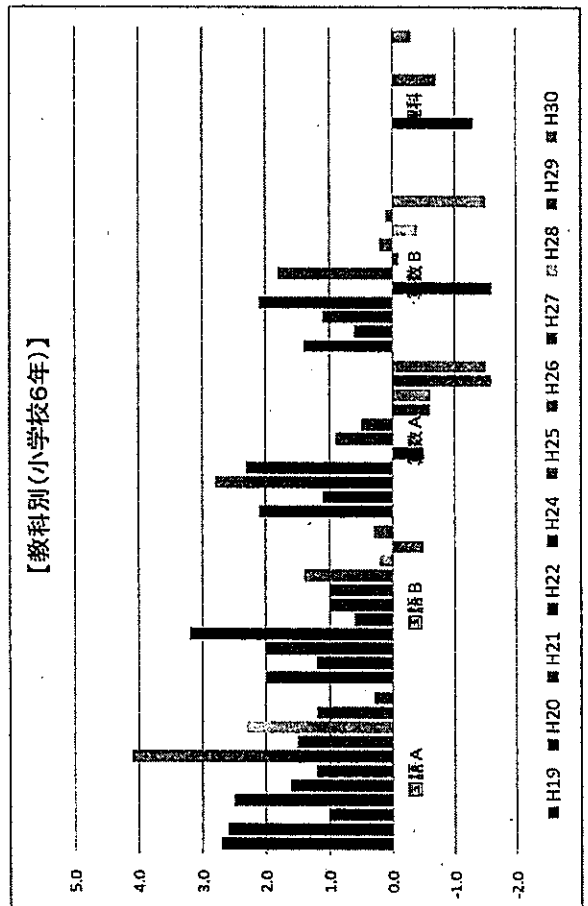
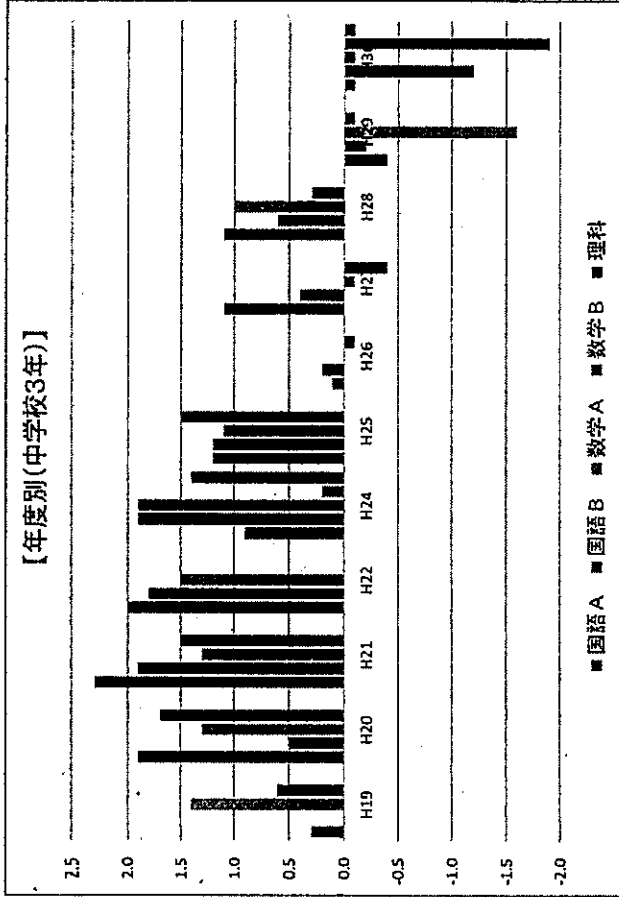
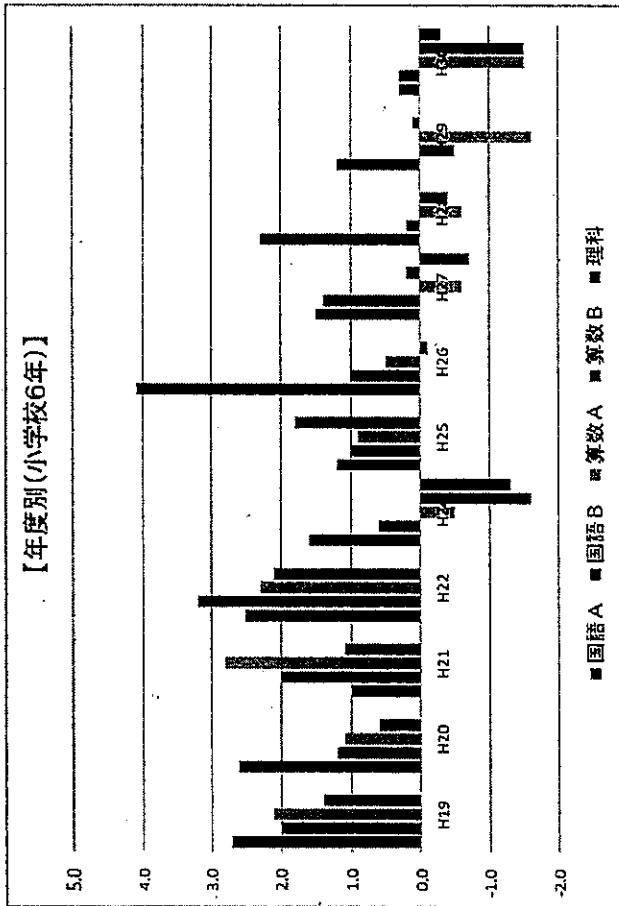
### (2) 課題と対応策(案)

現状課題①	平成25年度頃までは全国平均を上回る教科が多かったが、全国平均との差が少なくなり、平成29年度以降、複数の教科で全国平均を下回る結果となっており、学力の底上げが必要。
要因(想定)・取組の方向性	これまで、県教委では学力向上のために様々な施策を行ってきたが、授業改善や児童生徒の学力向上に生かしていない可能性があるため、抜本的な対策の検討が必要。
対応策(案)	<p><b>【新規】学力向上推進プロジェクトチーム(PT)の設置(第1回:9月21日)</b></p> <p>全国学力・学習状況調査における平成19年度以降の調査結果の推移から鳥取県の課題を明らかにするとともに戦略的、長期的な視点から抜本的な対策について「学力向上推進プロジェクトチーム」で検討し、早期に実践につなげていく。(別添資料参照)</p> <p><b>地域課題に応じた学力向上推進事業の取組(平成30年度新規事業で対応中)</b></p> <p>各地域の学力課題の解決に向けて、県教委と地教委が協働した取組を進めている。</p> <p>&lt;東部地域&gt;学校、家庭が連携して家庭学習のあり方や家庭学習とのつながりを意識した授業改善などについて実践研究し、家庭学習の質の向上を図る。</p> <p>&lt;中部地域&gt;過去5年間の小学校の国語、算数のB問題をもとに「活用問題集」を作成し、授業改善を進めることによって教員の授業力向上を図る。</p> <p>&lt;西部地域&gt;外部アドバイザーを招聘し、授業研究を中心に据えた授業力向上に取り組む。</p> <p>若手教員の他県先進校への視察研修を通して、学校の中核となる教員の指導力向上を図る。</p>

現状課題②	小学校の算数AB問題、中学校の数学B問題で全国平均を1ポイント以上下回り、「算数が好きだ」と答えた児童の割合も全国平均を大きく下回る結果となっている。また、算数・数学のみならず、国語や理科についても活用に関する問題の正答率が低く、無回答率が高い傾向が見られる。
要因(想定)・取組の方向性	この状況は数年間続いており、基礎的・基本的事項を確実に定着させ、活用力を高めていくとともに、学習意欲の向上を図るための授業改善に役立つような具体的な取組が必要。
対応策(案)	<p><b>【新規】小冊子「算数・数学の授業づくり」の配布・活用(夏休み後対応済)</b></p> <p>市町村教育委員会の指導主事と協働して「算数・数学の授業づくり」に関する小冊子を作成。8月末に市町村教育委員会へ配布し、算数・数学の更なる授業改善を進めている。今後、指導主事が各学校を訪問し、冊子を活用しながら個別に指導を行っていく。</p> <p><b>【新規】活用力育成に向けた授業改善の推進</b></p> <p>算数・数学以外の教科についても、リーディングスキル(読解力)を高めるための取組を検討するとともに、実生活の中で活かせる知識の習得及び活用力育成のための授業改善を推進する。</p>

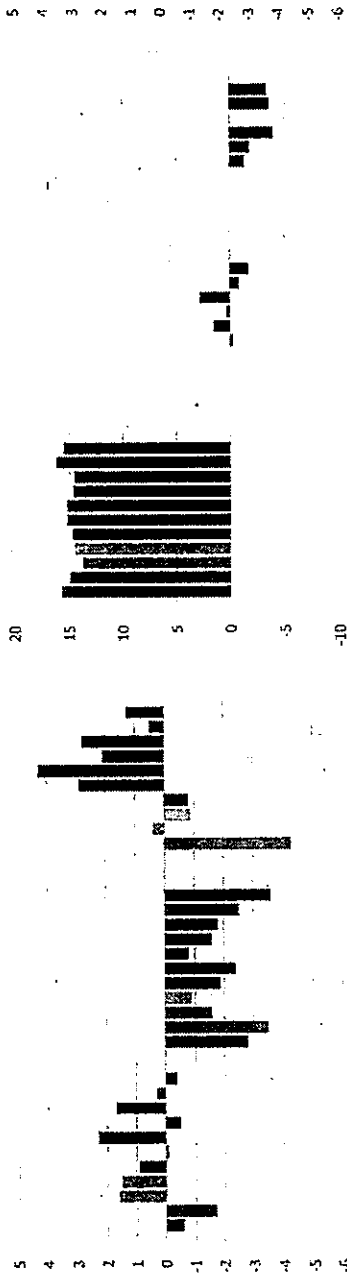
現状課題③	地域行事に参加している児童の割合は高いが、地域や社会で起こっている問題や出来事への関心はあまり高くないなど、地域や社会をより良くしようとする考えを持つ児童生徒が少ない。
要因(想定)・取組の方向性	地域行事は数多くあり、参加している児童生徒も多いが、その体験を次の行動に生かそうとする意識が低いため、家庭や地域と連携を図りながら、地域への関心を更に高めていく取組が必要。
対応策(案)	<p><b>【新規】「ふるさと教育」の充実</b></p> <p>小中高で一貫した「ふるさと教育」の体系を整理するとともに、鳥取県民ならだれでも知っているような人物、事柄等を集めた「鳥取県版ふるさと教育読本」(仮称)を作成し、全県で共通的な授業の進め方(スタンダードモデル)に取組むとともに、全国で活躍している鳥取県出身の著名人による講演会、シンポジウムの開催等を検討する。</p>

全国学力・学習状況調査結果における全国平均とのポイント差(平成19～30年度)



全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙の肯定的な回答における全国平均とのポイント差(平成19~30年度)

【小学校6年】



■H19 ■H20 ■H21 ■H22 ■H24 ■H25  
■H26 ■H27 ■H28 ■H29 ■H30

自分にはよいところがあると思  
いますか

将来の夢や目標を  
持っていますか

家で自分で計画を  
立てて勉強をして  
いますか

今の住んでいる地  
区に参加して  
いますか

地域や社会で  
出ている問題が  
興味がありますか

地域や社会をよく  
するために何を  
すべきか考えるこ  
とがありますか

■H19 ■H20 ■H21 ■H22 ■H24 ■H25  
■H26 ■H27 ■H28 ■H29 ■H30

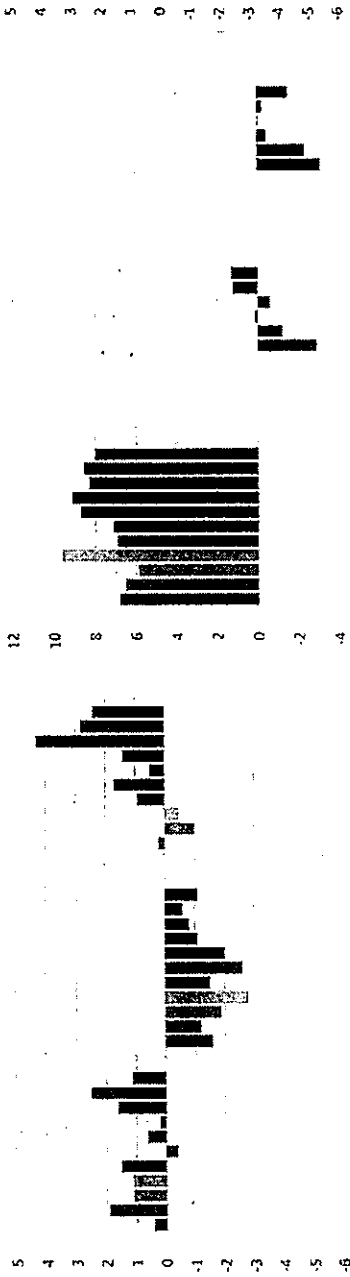
算数・数学の勉強  
が好きですか

内容がよく分か  
りやすいですか

算数・数学の授業  
で習ったことを  
生活の中で活用  
できますか

■H19 ■H20 ■H21 ■H22 ■H24 ■H25  
■H26 ■H27 ■H28 ■H29 ■H30

【中学校3年】



■H19 ■H20 ■H21 ■H22 ■H24 ■H25  
■H26 ■H27 ■H28 ■H29 ■H30

■H19 ■H20 ■H21 ■H22 ■H24 ■H25  
■H26 ■H27 ■H28 ■H29 ■H30

■H19 ■H20 ■H21 ■H22 ■H24 ■H25  
■H26 ■H27 ■H28 ■H29 ■H30

## 学力向上推進プロジェクトチームの設置について

平成30年9月10日  
小 中 学 校 課

全国学力・学習状況調査における平成19年度以降の調査結果の推移から鳥取県の課題を明らかにするとともに、学校・家庭・教育委員会が一体となって本県児童生徒の学力及び学習意欲の向上に向けて取り組むために、戦略的、短期・中長期的な視点から抜本的な対策を検討する「学力向上推進プロジェクトチーム」を設置する。

1 目的 鳥取県の学力向上対策をより一層推進していくために本PTを設置し、対策の方向性、具体的な取組について協議、検討を行う。

## 2 メンバー

所 属 ・ 役 職	氏 名	備 考
兵庫教育大学大学院教授	浅野 良一	外部アドバイザー ※1
国立教育政策研究所 総括研究官	千々布 敏弥	外部アドバイザー ※2
鳥取市立東中学校長	田村 穰	鳥取県中学校長会
鳥取市立湖山西小学校長	大西 泰博	鳥取県小学校長会
米子市教育委員会教育長	浦林 実	都市教育長会
北栄町教育委員会教育長	別本 勝美	町村教育長会
県教育委員会教育次長	足羽 英樹	
県教育委員会参事監兼教育センター所長	小林 傳	

※1 長年にわたって鳥取県教育に関する各種会議の外部アドバイザーや教職員研修の講師を務めるなど、本県の教育施策に精通されており、実情にあった具体的な助言がいただける方。

※2 福井県や秋田県など学力上位県の取組について精通されており、全国の好事例をもとに本県教育委員会の支援体制や教育施策に対して有益な提言をいただける方。

## 3 PTでの検討事項と主な取組内容(案)

## ①管理職・教員の意識改革、授業改善について

- ・指導主事による県内全小学校の学校訪問
  - 県教委の指導担当指導主事が県内の全小学校を訪問して5年生の算数の授業を参観し、管理職、担当教員に対して指導助言を行う。
- ・活用力育成に向けた授業改善の推進
  - リーディングスキル(読解力)を高めるための取組を検討するとともに、実生活の中で活かせる知識の習得及び活用力育成のための授業改善を推進する。
- ・小学校教育研究会、中学校教育振興会との連携
  - 各校種の教科部会と連携した授業改善の取組について検討する。

## ②児童生徒の学習意欲の向上、家庭学習の質の向上について

- ・学習意欲の向上に効果的な学習環境・体制づくりの検討
  - 学習に課題のある児童生徒の学び直しの仕組みづくりや、効果的な習熟度別・個別学習の体制づくりを検討する。
- ・家庭学習の質の向上
  - 予習・復習を意識した宿題の出し方や、学習習慣を身に付けるための効果的な家庭学習の方法について検討する。

## ③教員の同僚性の構築、若手教員の育成について

- ・学校体制の構築やOJTの推進に向けた取組
  - 大量退職・新規採用者が増加する中、ベテランから若手へ優れた授業スキルを継承するための学校体制の構築や、管理職やミドルリーダーを中心としたOJTの推進に向けた取組について検討する。
- ・若手教員研修、採用前研修の更なる充実と見直し
  - 若手教員研修、採用前研修について、より充実を図るため、内容等について見直し・検討を行う。

## ④県教育委員会の指導体制の見直しと強化について

- ・学校の授業改善の取組に対する指導体制の見直し
  - 要請訪問等の在り方や指導主事の指導助言、説明資料等について見直し・検討を行う。

## 【参考】PT会議のスケジュール(案)

- 第1回 9月21日(金) 内容:PTの目的、学力向上に向けた取組方策等
  - 第2回 10月26日(金) 内容:学力上位県の取組を踏まえた鳥取県への提言等
  - 第3回 1月下旬～2月中旬 内容:今後の学力向上の取組について等
- ※来年度も引き続きPTを開催していく予定(3回程度)





## 平成30年度全国学力・学習状況調査結果 鳥取県の概要【資料】

平成30年8月17日  
小 中 学 校 課

## 1 実施状況

【小学校6年生】実施校 126校（小学校122、義務教育学校3、特別支援学校小学部1）

教科等	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	質問紙
人数	4,728	4,725	4,728	4,726	4,731	4,729

【中学校3年生】実施校 62校（中学校54、分校2、義務教育学校3、特別支援学校中学部3）

教科等	国語A	国語B	数学A	数学B	理科	質問紙
人数	4,711	4,704	4,704	4,699	4,695	4,696

## 2 教科の概要

## (1) 小学校6年生

【平均正答率】

[単位：%]

	国語A		国語B		算数A		算数B		理科	
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)
H30	71	70.7	55	54.7	62	63.5	50	51.5	60	60.3
H29	76	74.8	57	57.5	77	78.6	46	45.9		
H28	75.2	72.9	58.0	57.8	77.0	77.6	46.8	47.2		
H27	71.5	70.0	66.8	65.4	74.6	75.2	45.2	45.0	60.1	60.8

## 国 語

## ○国語A（主として知識）…12問

◆平均正答率・・・鳥取県71%，全国70.7%

&lt;全国平均と比べて差の大きい主なもの&gt; ※全国平均を上回っている問題…下線

「7 相手や場面に応じて適切に敬語を使う」問題 ……（鳥取県60.0%，全国56.0%）

「8(工) 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う（かん理）」問題  
……（鳥取県67.0%，全国65.0%）「5 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書く」問題  
……（鳥取県30.8%，全国35.5%）

## ○国語B（主として活用）…8問

◆平均正答率・・・鳥取県55%，全国54.7%

&lt;全国平均と比べて差の大きい主なもの&gt;

「1 三 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる」  
問題 ……（鳥取県35.2%，全国33.8%）「3 二 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む」  
問題 ……（鳥取県55.3%，全国52.3%）「1 二 計画的に話し合うために、司会の役割について捉える」問題  
……（鳥取県75.0%，全国77.5%）

## 算数

### ○算数A (主として知識) …14問

◆平均正答率・・・鳥取県 62%, 全国 63.5%

<全国平均と比べて差の大きい主なもの>

「7(1) 円周率を求める式として正しいものを選ぶ」問題

・・・ (鳥取県 42.9%, 全国 41.6%)

「1(1) 針金 0.2m の重さと針金 0.1m の重さを書く」問題

・・・ (鳥取県 57.6%, 全国 62.9%)

「7(2) 円の直径の長さが2倍になったとき、円周の長さが何倍になるかを選ぶ」問題

・・・ (鳥取県 48.9%, 全国 55.6%)

### ○算数B (主として活用) …10問

◆平均正答率・・・鳥取県 50%, 全国 51.5%

<全国平均と比べて差の大きい主なもの>

「5(2) 4色を順に繰り返してつなげ、輪かざり1本を作ったときの、30個目の折り紙の色を選ぶ」問題

・・・ (鳥取県 68.4%, 全国 66.5%)

「1(1) 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ」問題

・・・ (鳥取県 66.8%, 全国 71.7%)

「2(2) 1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするための玉を投げる時間を、表に整理して求める」問題

・・・ (鳥取県 45.8%, 全国 47.9%)

### 〔算数関係の質問紙〕

<全国平均と比べて差の大きい主なもの>

「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」

・・・ (鳥取県 81.7%, 全国 78.4%)

「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」

・・・ (鳥取県 87.3%, 全国 85.8%)

「算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか(諦めずに解答した)」

・・・ (鳥取県 72.7%, 全国 70.6%)

「算数の勉強は好きですか」

・・・ (鳥取県 58.5%, 全国 64.0%)

「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」

・・・ (鳥取県 60.1%, 全国 64.4%)

「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか」

・・・ (鳥取県 75.6%, 全国 78.5%)

## 理科

### ○主として知識に関する問題…3問、主として活用に関する問題…13問

◆平均正答率・・・鳥取県 60%, 全国 60.3%

<全国平均と比べて差の大きい主なもの>

「1(3) 腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く」問題

・・・ (鳥取県 83.0%, 全国 79.4%)

「4(4) 食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導き出す結論を書く」問題

・・・ (鳥取県 32.6%, 全国 35.9%)

「3(2) 回路を流れる電流の流れ方について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛を選ぶ」問題

・・・ (鳥取県 45.6%, 全国 47.7%)

〔理科関係の質問紙〕

＜全国平均と比べて差の大きい主なもの＞

「解答を文章などで書く問題について、どのように解答しましたか（諦めずに解答した）」

・・・（鳥取県 79.5%，全国 77.3%）

「観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか」

・・・（鳥取県 69.9%，全国 68.1%）

「理科の勉強は大切だと思いますか」

・・・（鳥取県 86.7%，全国 85.4%）

「理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことがでてきましたか」

・・・（鳥取県 70.4%，全国 75.1%）

「理科の勉強は好きですか」

・・・（鳥取県 80.9%，全国 83.5%）

(2) 中学校3年生

【平均正答率】

[単位：%]

	国語A		国語B		数学A		数学B		理科	
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)
H30	76	76.1	60	61.2	66	66.1	45	46.9	66	66.1
H29	77	77.4	72	72.2	63	64.6	48	48.1		
H28	76.7	75.6	67.1	66.5	63.2	62.2	44.4	44.1		
H27	76.9	75.8	66.2	65.8	64.3	64.4	41.2	41.6	53.0	53.0

国語

○国語A（主として知識）…32問

◆平均正答率・・・鳥取県 76%，全国 76.1%

＜全国平均と比べて差の大きい主なもの＞

「8-2 文脈に即して漢字を正しく書く（舞台のマクが上がる）」問題

・・・（鳥取県 76.6%，全国 72.9%）

「8 三才 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う（意見の折り合いをつける）」問題

・・・（鳥取県 68.4%，全国 61.8%）

「8 四 2 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く」問題

・・・（鳥取県 17.3%，全国 22.3%）

○国語B（主として活用）…9問

◆平均正答率・・・鳥取県 60%，全国 61.2%。

＜全国平均と比べて差の大きい主なもの＞

「3 二 登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる」問題

・・・（鳥取県 66.9%，全国 68.2%）

「3 三 相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書く」問題

・・・（鳥取県 46.9%，全国 49.2%）

## 数 学

### ○数学A (主として知識) … 3 6 問

◆平均正答率・・・鳥取県 66%, 全国 66.1%

<全国平均と比べて差の大きい主なもの>

「1(2) 絶対値が6である数を書く」問題・・・(鳥取県 74.7%, 全国 69.0%)

「11(2) 一次関数  $y=-2x+6$  が表すグラフを選ぶ」問題  
・・・(鳥取県 60.3%, 全国 56.3%)

「2(3)  $a=3$ 、 $b=-4$  のときの式  $a-2b$  の値を求める」問題  
・・・(鳥取県 74.7%, 全国 78.5%)

「7(2) 長方形で成り立ち、ひし形でも成り立つことを選ぶ」問題  
・・・(鳥取県 75.3%, 全国 78.2%)

### ○数学B (主として活用) … 1 4 問

◆平均正答率・・・鳥取県 45%, 全国 46.9%

<全国平均と比べて差の大きい主なもの>

「1(1) 全校生徒 300 人に対する上位 4 曲を回答した生徒数の割合を求める」問題  
・・・(鳥取県 56.1%, 全国 55.7%)

「2(2) はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも 4 の倍数になる説明を完成する」問題  
・・・(鳥取県 34.0%, 全国 37.5%)

「3(2) グラフから、列車のすれ違いが起こる地点のA駅からの道のりを求める」問題  
・・・(鳥取県 74.2%, 全国 77.7%)

### 〔数学関係の質問紙〕

<全国平均と比べて差の大きい主なもの>

「数学の勉強は大切だと思いますか」・・・(鳥取県 85.1%, 全国 83.6%)

「数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」  
・・・(鳥取県 71.9%, 全国 70.3%)

「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」  
・・・(鳥取県 75.4%, 全国 72.9%)

「数学の授業の内容はよく分かりますか」・・・(鳥取県 68.6%, 全国 71.0%)

「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」  
・・・(鳥取県 36.5%, 全国 38.7%)

「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか」  
・・・(鳥取県 66.1%, 全国 69.2%)

## 理 科

### ○主として知識に関する問題… 1 1 問、主として活用に関する問題… 1 6 問

◆平均正答率・・・鳥取県 66%, 全国 66.1%

<全国平均と比べて差の大きい主なもの>

「5(1) 神経系の働きについての知識を問う」問題・・・(鳥取県 60.7%, 全国 57.2%)

「3(3) 台風の進路を決める条件を指摘する」問題・・・(鳥取県 49.8%, 全国 52.3%)

「8(3) 探究の過程を振り返り、アルミニウムが水の温度変化に関係していることについての新たな問題を見いだす」問題  
・・・(鳥取県 71.5%, 全国 74.0%)

〔理科関係の質問紙〕

〈全国平均と比べて差の大きい主なもの〉

- 「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」  
・・・（鳥取県 59.0%，全国 55.7%）
- 「理科の勉強は大切だと思いますか」  
・・・（鳥取県 73.7%，全国 70.6%）
- 「理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか」  
・・・（鳥取県 44.0%，全国 41.4%）
- 「理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」  
・・・（鳥取県 42.5%，全国 45.4%）
- 「理科の授業の内容はよく分かりますか」  
・・・（鳥取県 68.0%，全国 70.0%）

3 質問紙調査の概要

※〔 〕内の数字は、質問番号 ※ 全国平均を上回っている数値…下線

(1) 「教育に関する大綱」に関連するもの

○小中共通〔1〕「自分には、よいところがあると思いますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 83.6%、全国 84.0%

中学校 鳥取県 79.9%、全国 78.8%

○小中共通〔3〕「将来の夢や目標を持っていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 81.5%、全国 85.1%

中学校 鳥取県 71.3%、全国 72.4%

○小中共通〔10〕「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 68.9%、全国 67.6%

中学校 鳥取県 54.5%、全国 52.1%

○小中共通〔20〕「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 78.2%、全国 62.7%

中学校 鳥取県 53.6%、全国 45.6%

○小中共通〔21〕「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 62.1%、全国 63.8%

中学校 鳥取県 60.6%、全国 59.3%

○小中共通〔32〕「算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 60.1%、全国 64.4%

中学校 鳥取県 36.5%、全国 38.7%

(2) 「主体的・対話的で深い学び」に関連するもの

○小学校〔55〕 中学校〔52〕

「これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 76.4%、全国 76.7%

中学校 鳥取県 76.8%、全国 73.8%

○小学校〔57〕 中学校〔54〕

「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 78.2%、全国 77.7%

中学校 鳥取県 77.7%、全国 76.3%

(3) 「基本的生活習慣」に関連するもの

○小中共通〔7〕

「朝食を毎日食べていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 95.3%、全国 94.5%

中学校 鳥取県 94.4%、全国 91.9%

○小中共通〔8〕

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 78.6%、全国 77.0%

中学校 鳥取県 78.5%、全国 74.2%

○小中共通〔9〕

「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 89.6%、全国 88.8%

中学校 鳥取県 91.4%、全国 90.3%

鳥取県の「教育に関する大綱」に係る指標の状況（全国学力・学習状況調査に係るもの）

【1 学ぶ意欲を高める学校教育の推進 ～全国に誇れる学力を目指す学びの質の向上～】

指標項目	対象	指標	H29実績		H30実績	
			全国	県	全国	県
◆各教科の県平均	小6	国A	74.8%	76%	70.7%	71%
		国B	57.5%	57%	54.7%	55%
		算A	78.6%	77%	63.5%	62%
		算B	45.9%	46%	51.5%	50%
		理科			60.3%	60%
		全国平均を上回る				
	中3	国A	77.4%	77%	76.1%	76%
		国B	72.2%	72%	61.2%	60%
		数A	64.6%	63%	66.1%	66%
		数B	48.1%	48%	46.9%	45%
		理科			66.1%	66%
		全国平均を上回る				
◆各教科の最上位層(A～Dの4段階のA層※)の割合 ※A～D層の設定は鳥取県の独自基準(以下同じ)	小6	国A	38.7%	39.8%	26.2%	25.0%
		国B	31.1%	29.5%	31.4%	31.5%
		算A	37.1%	33.7%	34.9%	31.6%
		算B	29.8%	29.4%	34.7%	33.0%
		理科			29.8%	31.8%
		全国の割合を上回る				
	中3	国A	30.2%	29.8%	31.4%	33.0%
		国B	42.1%	41.9%	35.8%	34.2%
		数A	28.9%	27.7%	25.2%	25.1%
		数B	26.6%	26.4%	32.6%	30.5%
		理科			28.3%	28.4%
		全国の割合を上回る				
◆各教科の最下位層(A～Dの4段階のD層)の割合	小6	国A	22.3%	20.6%	22.0%	21.2%
		国B	23.2%	21.9%	18.6%	18.6%
		算A	20.2%	21.4%	24.3%	26.6%
		算B	18.4%	18.8%	19.6%	20.4%
		理科			17.8%	18.0%
		全国の割合を下回る				
	中3	国A	23.2%	23.4%	23.2%	22.8%
		国B	19.2%	18.9%	17.5%	18.9%
		数A	25.2%	28.1%	23.3%	24.4%
		数B	22.5%	23.3%	22.8%	25.2%
		理科			20.9%	21.7%
		全国の割合を下回る				
◆中学校3年生の各教科の最上位層(A～Dの4段階のA層)の割合 ※ 全国割合に対する割合で比較	中3	国A	80.5%		101.3%	
		国B	96.5%		90.0%	
		数A	93.3%		110.9%	
		数B	98.6%		90.3%	
		理科			112.4%	
		同生徒が小学校6年生時の各教科の最上位層の割合を上回る				
◆中学校3年生の各教科の最下位層(A～Dの4段階のD層)の割合 ※ 全国割合に対する割合で比較	中3	国A	137.4%		116.2%	
		国B	107.1%		115.8%	
		数A	119.2%		103.3%	
		数B	102.6%		112.0%	
		理科			102.9%	
		同生徒が小学校6年生時の各教科の最下位層の割合を下回る				
◆学校の授業がわかる児童生徒の割合	小6	国	85%	83.2%		
		算	80%	77.5%		80.8%
		理	80%			88.8%
		国	75%	74.2%		
		数	70%	67.3%		68.6%
		理	70%			68.0%
	中3	国	70.0%	66.8%		60.1%
		算	45.0%	47.5%		36.5%
		理				
		国	95.0%	95.3%		
		数	95.0%	93.5%		
		理				
◆「身に付けた知識・技能や経験を、生活の中で活用できないか考える」児童生徒の割合(算数・数学)	小6	70.0%	66.8%		60.1%	
	中3	45.0%	47.5%		36.5%	
◆「児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導をする」小中学校の割合	小学校	95.0%	95.3%			
	中学校	95.0%	93.5%			
◆「授業の中で、自分たちで課題を立てて、解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動に取り組む」児童生徒の割合	小6	80.0%	75.9%			
	中3	80.0%	77.9%			
◆「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の割合	小6	90.0%	83.4%		81.5%	
	中3	75.0%	69.9%		71.3%	
◆「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする」児童生徒の割合	小6	75.0%	70.2%			
	中3	70.0%	67.2%			
◆「読書が好きである」児童生徒の割合	小6	75.0%	75.7%			
	中3	75.0%	74.9%			
◆「学級みんなで協力してやり逃げ、うれしかったことがある」児童生徒の割合	小6	90.0%	89.2%			
	中3	85.0%	86.9%			

【2 社会全体で学び続ける環境づくり ～協働連携して取り組む家庭・地域教育の推進～】

指標項目	対象	指標	H29実績	H30実績
◆「家で、自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の割合	小6	70.0%	65.0%	68.9%
	中3	55.0%	54.3%	54.5%
◆「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」児童生徒の割合	小6	80.0%	79.2%	
	中3	70.0%	73.1%	
◆「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」児童生徒の割合	小6	75.0%	63.1%	62.1%
	中3	70.0%	60.4%	60.6%
◆「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合	小6	80.0%	78.2%	83.6%
	中3	75.0%	73.1%	79.9%
◆「地域の行事に参加している」児童生徒の割合	小6	85.0%	78.7%	78.2%
	中3	55.0%	50.6%	53.6%

平成30年度全国学力・学習状況調査

【小学校】児童質問紙調査結果から

■ 全国平均より3ポイント以上上回っている項目

■ 下線 全国平均より3ポイント以上下回っている項目

全国との比較

質問 番号	質問事項	全国との比較		
		県 肯定的回答	全国	差(%)
1	自分には、よいところがあると思いますか	83.6	84.0	-0.4
2	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	88.1	85.3	2.8
3	将来の夢や目標を持っていますか	81.5	85.1	<u>-3.6</u>
4	学校のきまりを守っていますか	90.1	89.5	0.6
5	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.4	96.8	0.6
6	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.9	95.2	0.7
7	朝食を毎日食べていますか	95.3	94.5	0.8
8	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	78.6	77.0	1.6
9	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.6	88.8	0.8
10	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	68.9	67.6	1.3
11	家で、学校の宿題をしていますか	96.8	97.1	-0.3
12	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	63.7	62.6	1.1
13	家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	74.1	69.9	<b>4.2</b>
14	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)(2時間以上)	22.4	29.3	<u>-6.9</u>
15	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(10分以上)	66.5	66.2	0.3
16	放課後に何をして過ごすことが多いですか	-	-	-
17	週末に何をして過ごすことが多いですか	-	-	-
18	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	79.8	80.5	-0.7
19	5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	78.2	74.4	<b>3.8</b>
20	今住んでいる地域の行事に参加していますか	78.2	62.7	<b>15.5</b>
21	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	62.1	63.8	-1.7
22	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	46.5	49.9	<u>-3.4</u>
23	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	44.8	36.1	<b>8.7</b>



【小学校】児童質問紙調査結果から

■ 全国平均より3ポイント以上上回っている項目

下線 全国平均より3ポイント以上下回っている項目

全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
24	地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	40.8	41.6	-0.8
25	新聞を読んでいますか(週に1回以上)	24.2	19.9	<b>4.3</b>
26	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	84.5	86.2	-1.7
27	算数の勉強は好きですか	58.5	64.0	<u>-5.5</u>
28	算数の勉強は大切だと思いますか	91.7	92.1	-0.4
29	算数の授業の内容はよく分かりますか	80.8	83.4	-2.6
30	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	74.9	74.3	0.6
31	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	81.7	78.4	<b>3.3</b>
32	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	60.1	64.4	<u>-4.3</u>
33	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.0	90.3	0.7
34	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	75.6	78.5	-2.9
35	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	80.1	80.4	-0.3
36	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	87.3	85.8	1.5
37	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	72.7	70.6	2.1
38	理科の勉強は好きですか	80.9	83.5	-2.6
39	理科の勉強は大切だと思いますか	86.7	85.4	1.3
40	理科の授業の内容はよく分かりますか	88.8	89.4	-0.6
41	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	86.9	87.0	-0.1
42	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	62.7	64.7	-2.0
43	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	75.9	72.9	<b>3.0</b>
44	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	24.0	26.1	-2.1
45	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	52.5	54.5	-2.0
46	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか(月1回以上)	89.9	89.1	0.8
47	観察や実験を行うことは好きですか	88.1	89.8	-1.7

【小学校】児童質問紙調査結果から

■ 全国平均より3ポイント以上上回っている項目

■ 下線 全国平均より3ポイント以上下回っている項目

質問 番号	質問事項	全国との比較		
		県 肯定的回答	全国	差(%)
48	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	72.8	75.2	-2.4
49	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	80.6	81.8	-1.2
50	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	69.9	68.1	1.8
51	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	79.5	77.3	2.2
52	5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思いましたか	85.5	87.5	-2.0
53	5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことができましたか	70.4	75.1	<u>-4.7</u>
54	今、社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「おもしろいな」などと思いますか	77.6	82.0	<u>-4.4</u>
55	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	76.4	76.7	-0.3
56	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	60.0	61.0	-1.0
57	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	78.2	77.7	0.5
58	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	78.8	80.0	-1.2
59	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	74.4	74.7	-0.3
60	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数A)	78.5	80.3	-1.8
61	調査問題の解答時間は十分でしたか(算数B)	62.2	66.0	<u>-3.8</u>
62	調査問題の解答時間は十分でしたか(理科)	90.5	90.1	0.4

平成30年度全国学力・学習状況調査

【小学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H30	H29	H28	H27
		肯定的な回答(%)			
1	自分には、よいところがあると思いますか	83.6	78.2	78.0	75.9
2	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	88.1	88.5	87.5	/
3	将来の夢や目標を持っていますか	81.5	83.4	83.5	84.9
4	学校のきまりを守っていますか	90.1	92.9	92.8	91.5
5	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.4	96.2	96.9	97.1
6	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.9	92.8	94.9	94.4
7	朝食を毎日食べていますか	95.3	96.3	96.3	96.2
8	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	78.6	80.3	81.6	79.6
9	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89.6	92.1	91.5	91.2
10	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	68.9	65.0	65.0	64.9
11	家で学校の宿題をしていますか	96.8	96.1	96.8	96.0
12	家で学校の授業の予習・復習をしていますか	63.7	/	/	/
	家で学校の授業の予習をしていますか	/	41.0	43.8	40.6
	家で学校の授業の復習をしていますか	/	56.7	61.0	56.5
13	家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	74.1	/	69.3	/
14	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)(2時間以上)	22.4	20.9	20.1	19.9
15	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(10分以上)	66.5	64.3	64.2	64.5
	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか(週1回以上)	/	24.1	25.3	27.9
16	放課後に何をして過ごすことが多いですか	-	-	/	/
17	週末に何をして過ごすことが多いですか	-	-	/	/
18	家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか	79.8	76.5	79.4	78.2
19	5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	78.2	/	/	/
20	今住んでいる地域の行事に参加していますか	78.2	78.7	82.4	81.5
21	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	62.1	63.1	73.4	64.2

平成30年度全国学力・学習状況調査

【小学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H30	H29	H28	H27
		肯定的な回答(%)			
22	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	46.5	38.7		40.8
23	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	44.8	43.9	46.4	
24	地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	40.8	39.8		
25	新聞を読んでいますか(週に1回以上)	24.2	25.8	29.5	29.3
26	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使う場合含む)	84.5	81.7	83.5	80.7
27	算数の勉強は好きですか	58.5	61.3	61.6	60.9
28	算数の勉強は大切だと思いますか	91.7	91.2	92.0	92.4
29	算数の授業内容はよく分かりますか	80.8	77.5	77.4	78.7
30	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	74.9	73.4	76.0	75.9
31	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	81.7	82.1	83.1	79.4
32	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	60.1	66.8	68.4	64.8
33	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.0	88.8	91.4	90.7
34	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	75.6	79.8	80.3	76.0
35	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	80.1	82.4	82.3	80.2
36	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	87.3	86.9	88.6	84.7
37	今回の算数の問題について、解答を言葉や数、式を使って、説明する問題がありました。最後まで解答を書こうと努力しましたか	72.7	71.7	74.9	76.3
38	理科の勉強は好きですか	80.9			83.8
39	理科の勉強は大切だと思いますか	86.7			88.0
40	理科の授業の内容はよく分かりますか	88.8			88.5
41	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	86.9			87.1
42	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	62.7			68.3
43	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	75.9			76.1
44	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	24.0			26.5
45	理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	52.5			55.2

平成30年度全国学力・学習状況調査  
【小学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

質問	質問事項	H30	H29	H28	H27
		肯定的な回答(%)			
46	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか(月1回以上)	89.9			89.3
47	観察や実験を行うことは好きですか	88.1			88.8
48	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	72.8			
49	理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	80.6			79.4
50	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	69.9			69.5
51	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	79.5			79.6
52	5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思いましたか	85.5			
53	5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことができましたか	70.4			
54	今、社会のことがらや自然のことがらに、「不思議だな」「おもしろいな」などと思えますか	77.6			
55	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思えますか	76.4			
	5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思えますか		78.1	81.6	
56	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思えますか	60.0	63.5	65.5	
57	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思えますか	78.2	69.3	71.8	67.4
58	解答時間は十分でしたか(国語A)	78.8	86.6	85.6	83.2
59	解答時間は十分でしたか(国語B)	74.4	65.2	70.0	67.8
60	解答時間は十分でしたか(算数A)	78.5	86.8	85.9	84.1
61	解答時間は十分でしたか(算数B)	62.2	49.6	54.3	61.1
62	解答時間は十分でしたか(理科)	90.5			77.1

平成30年度全国学力・学習状況調査

【中学校】生徒質問紙調査結果から

■ 全国平均より3ポイント以上上回っている項目

□ 下線 全国平均より3ポイント以上下回っている項目

全国との比較

質問 番号	質問事項	全国との比較		差(%)
		県 肯定的回答	全国	
1	自分には、よいところがあると思いますか	79.9	78.8	1.1
2	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	85.3	82.2	3.1
3	将来の夢や目標を持っていますか	71.3	72.4	-1.1
4	学校の規則を守っていますか	95.5	95.1	0.4
5	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.7	95.5	0.2
6	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.9	94.9	1.0
7	朝食を毎日食べていますか	94.4	91.9	2.5
8	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	78.5	74.2	4.3
9	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.4	90.3	1.1
10	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	54.5	52.1	2.4
11	家で、学校の宿題をしていますか	90.4	91.6	-1.2
12	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか	47.3	55.2	-7.9
13	家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	68.8	71.3	-2.5
14	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師も含む)(2時間以上)	31.0	36.4	-5.4
15	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(10分以上)	57.2	53.5	3.7
16	放課後に何をして過ごすことが多いですか	-	-	-
17	週末に何をして過ごすことが多いですか	-	-	-
18	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	76.1	76.0	0.1
19	1, 2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか	70.4	68.7	1.7
20	今住んでいる地域の行事に参加していますか	53.6	45.6	8.0
21	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	60.6	59.3	1.3
22	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	37.2	38.7	-1.5
23	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	59.6	51.8	7.8

【中学校】生徒質問紙調査結果から

■ 全国平均より3ポイント以上上回っている項目

□ 下値 全国平均より3ポイント以上下回っている項目

質問 番号	質問事項	全国との比較		
		県 肯定的回答	全国	差(%)
24	地域の大人(学校や塾・習い事の先生を除く)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	25.0	25.5	-0.5
25	新聞を読んでいますか(週に1回以上)	20.2	13.9	6.3
26	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)	87.3	86.6	0.7
27	数学の勉強は好きですか	52.3	53.9	-1.6
28	数学の勉強は大切だと思いますか	85.1	83.6	1.5
29	数学の授業の内容はよく分かりますか	68.8	71.0	-2.4
30	数学ができるようになりたいと思いますか	92.7	92.5	0.2
31	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	71.9	70.3	1.6
32	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	36.5	38.7	-2.2
33	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	75.4	72.9	2.5
34	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	66.1	69.2	-3.1
35	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	70.4	70.4	0.0
36	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	80.6	80.6	0.0
37	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか	53.5	55.5	-2.0
38	理科の勉強は好きですか	62.1	62.9	-0.8
39	理科の勉強は大切だと思いますか	73.7	70.6	3.1
40	理科の授業の内容はよく分かりますか	68.0	70.0	-2.0
41	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	76.5	77.6	-1.1
42	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	42.5	45.4	-2.9
43	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	59.0	55.7	3.3
44	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	22.0	22.2	-0.2
45	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	44.0	41.4	2.6
46	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか(月1回以上)	85.4	87.1	-1.7
47	観察や実験を行うことは好きですか	81.1	82.1	-1.0

【中学校】生徒質問紙調査結果から

■ 全国平均より3ポイント以上上回っている項目

□ 下様 全国平均より3ポイント以上下回っている項目

全国との比較

質問 番号	質問事項	県	全国	差(%)
		肯定的回答		
48	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	58.1	58.5	-0.4
49	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	71.2	72.3	-1.1
50	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	59.8	59.0	0.8
51	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	61.7	62.8	-1.1
52	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	76.8	73.8	3.0
53	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	54.9	53.8	1.1
54	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	77.7	76.3	1.4
55	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語A)	92.9	92.1	0.8
56	調査問題の解答時間は十分でしたか(国語B)	80.4	82.2	-1.8
57	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学A)	91.0	91.5	-0.5
58	調査問題の解答時間は十分でしたか(数学B)	70.5	73.5	-3.0
59	調査問題の解答時間は十分でしたか(理科)	91.1	92.3	-1.2



質問	質問事項	H30	H29	H28	H27
		肯定的な回答(%)			
1	自分には、よいところがあると思いますか	79.9	73.2	70.9	68.3
2	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	85.3	82.2	79.1	
3	将来の夢や目標を持っていますか	71.3	69.9	70.3	70.6
4	学校の規則を守っていますか	95.5	95.1	95.2	94.6
5	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いませんか	95.7	93.2	93.8	94.6
6	人の役に立つ人間になりたいと思いませんか	95.9	92.9	92.4	94.2
7	朝食を毎日食べていますか	94.4	94.6	95.2	94.6
8	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	78.5	78.5	78.6	78.6
9	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.4	92.6	93.0	92.6
10	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	54.5	54.3	52.7	50.2
11	家で学校の宿題をしていますか	90.4	89.6	90.8	90.6
12	家で学校の授業の予習・復習をしていますか	47.3			
	家で学校の授業の予習をしていますか		25.6	27.6	27.2
	家で学校の授業の復習をしていますか		47.6	48.0	49.6
13	家で予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	68.8		65.2	
14	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師も含む)(2時間以上)	31	30.1	30.0	31.5
15	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(10分以上)	57.2	56.1	53.9	58.2
	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか(週に1回以上)		16.6	15.3	18.2
16	放課後に何をして過ごすことが多いですか	-	-		
17	週末に何をして過ごすことが多いですか	-	-		
18	家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしますか	76.1	74.3	74.8	73.5
19	1, 2年生のときに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いませんか	70.4	56.0		
20	今住んでいる地域の行事に参加していますか	53.6	50.6	53.5	53.9
21	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	60.6	60.4	65.2	56.0

平成30年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

22	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	37.2	33.2		32.5
23	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	59.6	56.5	54.8	
24	地域の大人(学校や塾・習い事の先生は除きます。)に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか	25	24.0		
25	新聞を読んでいますか(週に1回以上)	20.2	22.1	25.4	25.6
26	テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使う場合含む)	87.3	85.9	85.5	82.7
27	数学の勉強は好きですか	52.3	54.8	54.2	53.6
28	数学の勉強は大切だと思いますか	85.1	82.2	81.4	83.1
29	数学の授業内容はよく分かりますか	68.6	67.3	66.4	67.6
30	数学ができるようになりたいと思いますか	92.7	91.5	91.4	90.9
31	数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	71.9	75.5	71.8	68.8
32	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	36.5	47.5	42.7	40.4
33	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	75.4	74.6	73.7	74.7
34	数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	66.1	69.4	65.7	64.3
35	数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	70.4	73.3	69.2	69.5
36	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノードに書いていますか	80.6	83.0	81.1	81.2
37	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	53.5	55.6	50.0	48.9
38	理科の勉強は好きですか	62.1			62.7
39	理科の勉強は大切だと思いますか	73.7			72.7
40	理科の授業の内容はよく分かりますか	68			67.3
41	自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	76.5			76.4
42	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	42.5			46.8
43	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	59			58.3
44	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	22			23.3
45	理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり、発表したりしていますか	44			41.5
46	理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか(月1回以上)	85.4			81.1

平成30年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問紙調査結果から

4年間の比較

※斜線は質問項目がなかったもの

47	観察や実験を行うことは好きですか	81.1			79.2
48	理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	58.1			54.9
49	理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	71.2			65.7
50	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	59.8			56.7
51	今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	61.7			51.5
52	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	76.8			
	1, 2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか		80.5	78.1	
53	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか	54.9	61.8	59.4	
54	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	77.7	68.7	68.1	65.5
55	解答時間は十分でしたか(国語A)	92.9	94.0	93.2	94.8
56	解答時間は十分でしたか(国語B)	80.4	85.5	83.4	86.4
57	解答時間は十分でしたか(数学A)	91	89.9	89.0	90.4
58	解答時間は十分でしたか(数学B)	70.5	75.5	61.1	76.1
59	解答時間は十分でしたか(理科)	91.1			84.8



平成30年8月21日  
小中学校課

1 教科に関する調査  
調査結果(平均正答率)

[小学校(公立)]

[単位: %]

	国語A			国語B			算数A			算数B			理科		
	東部	中部	西部	東部	中部	西部	東部	中部	西部	東部	中部	西部	東部	中部	西部
H30	71	72	70	55	56	53	62	65	61	51	51	49	59	61	58
	国 70.7	県 71		国 54.7	県 55		国 63.5	県 62		国 51.5	県 50		国 60.3	県 60	
H29	77	75	75	58	56	57	78	79	77	47	45	45			
	国 74.8	県 76		国 57.5	県 57		国 78.6	県 77		国 45.9	県 46				
H28	77.0	75.7	73.3	58.6	59.2	57.0	77.7	79.5	75.2	47.0	48.7	45.8			
	国 72.9	県 75.2		国 57.8	県 58.0		国 77.6	県 77.0		国 47.2	県 46.8				

[中学校(公立)]

	国語A			国語B			数学A			数学B			理科		
	東部	中部	西部	東部	中部	西部	東部	中部	西部	東部	中部	西部	東部	中部	西部
H30	76	76	77	59	59	61	65	67	66	44	45	46	65	66	66
	国 76.1	県 76		国 61.2	県 60		国 66.1	県 66		国 46.9	県 45		国 66.1	県 66	
H29	77	78	78	71	74	73	63	66	63	48	49	47			
	国 77.4	県 77		国 72.2	県 72		国 64.6	県 63		国 48.1	県 48				
H28	77.5	76.4	76.1	67.4	66.8	67.0	63.9	65.0	61.7	44.2	46.6	43.7			
	国 75.6	県 76.7		国 66.5	県 67.1		国 62.2	県 63.2		国 44.1	県 44.4				

- ◆ 小学校の結果について、中部地域は、3教科5区分全てで全国と差がないか上回る結果であったが、東部地域は算数A、理科で、西部地域は国語Aを除く4区分で全国を下回り、それぞれ課題が見られた。
- ◆ 小学校の結果における地域間の差は、2~4ポイントとなっており、特に算数Aにおける差が大きくなっている。
- ◆ 中学校の結果について、西部地域は、3教科5区分全てで全国と差がない結果であったが、東部地域は国語A問題を除く4区分で全国を下回り、中部地域は国語B、数学Bで全国を下回り、両教科の主に活用に関する問題に課題が見られた。
- ◆ 中学校の結果における地域間の差は、1~2ポイントとなっており、国語B、数学A、Bにおける差が大きくなっている。

2 質問紙調査

[成果]

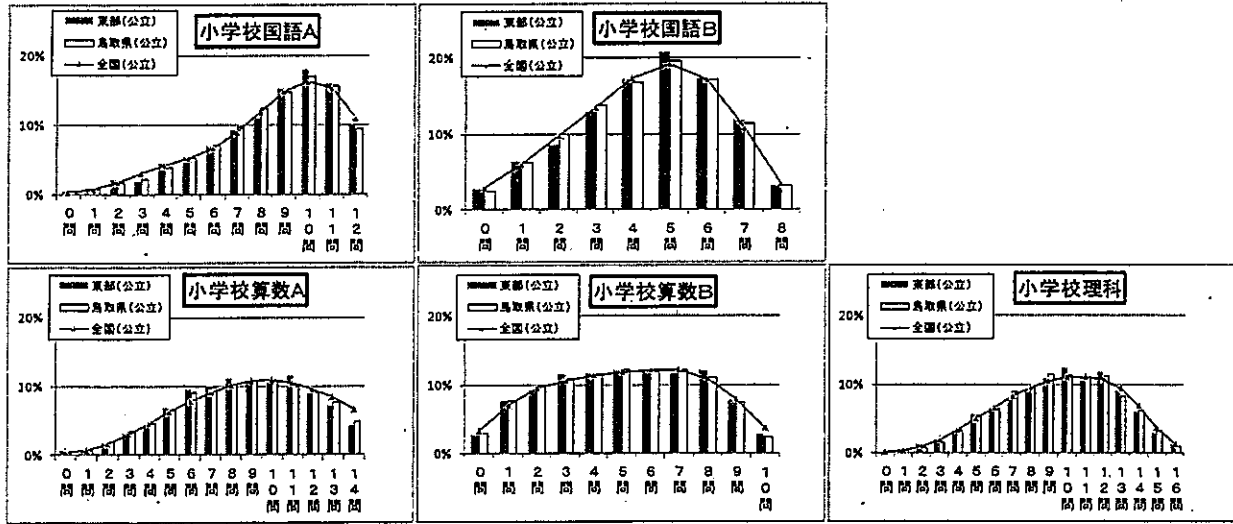
- ◆ 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている」と回答した児童生徒の割合は、小学校の中部地域、西部地域、中学校の3地域で全国を上回っており、「対話的な学び」を通して「深い学び」の実現に向けて取組が進んでいると考えられる。
- ◆ 「家で、自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童生徒の割合は、小学校、中学校いずれも東部地域、中部地域で全国を上回り、西部地域で下回っている。
- ◆ 「地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合は、小学校、中学校いずれも3地域で全国を大きく上回っている。特に中部地域は割合が高い。

[課題]

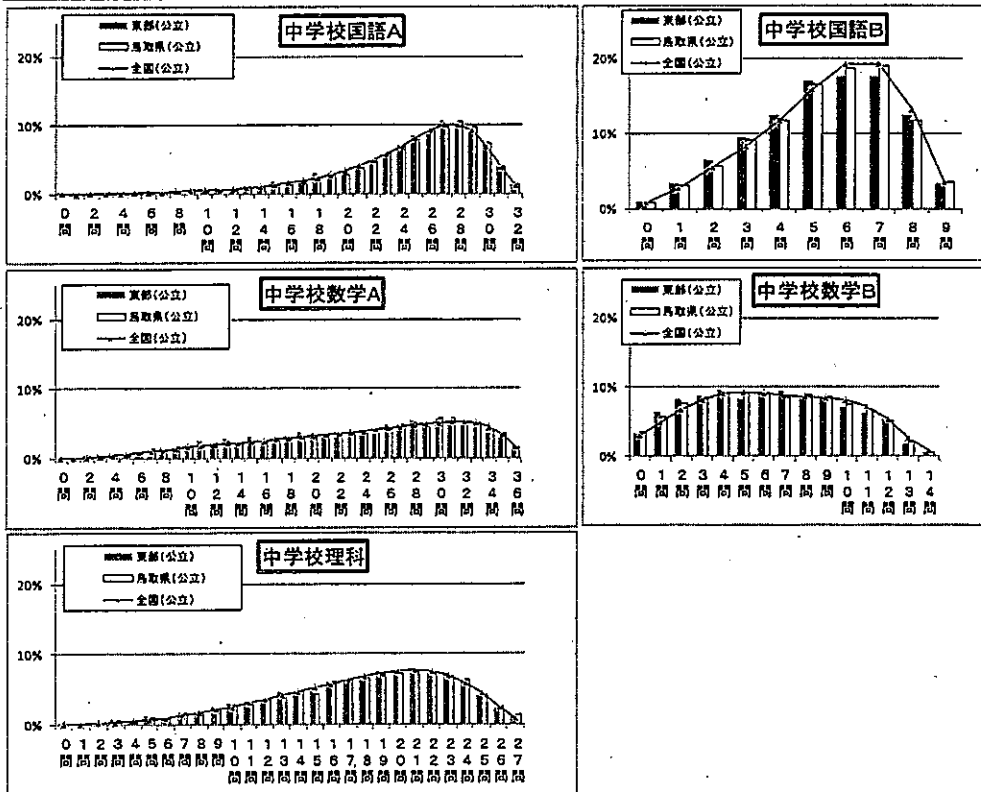
- ◆ 「算数・数学の授業の内容がよく分かる」と回答した児童生徒の割合は、3地域とも全国を下回っており、引き続き算数・数学科における授業改善に取り組んでいく必要がある。
- ◆ 「算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童生徒の割合は、中学校の東部地域で全国を上回っているが、小学校の3地域及び中学校の中部地域、西部地域で下回っており、算数・数学科における日常生活と関連を図った指導が求められる。
- ◆ 「授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合は、中学校では3地域全てで全国を上回っていたが、小学校では中部地域、西部地域が全国を下回っており、児童が主体的に学習に取り組めるよう指導の充実を図っていく必要がある。
- ◆ 「将来の夢や目標をもっている」「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と回答した児童の割合は、小学校では3地域とも全国平均を下回っており、地域や社会と接点を持った教育活動の更なる充実が求められる。

■教科に関する調査

	小学校国語A	小学校国語B	小学校算数A	小学校算数B	小学校理科
東部(公立)	71	55	62	51	59
鳥取県(公立)	71	55	62	50	60
全国(公立)	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3



	中学校国語A	中学校国語B	中学校数学A	中学校数学B	中学校理科
東部(公立)	76	59	65	44	65
鳥取県(公立)	76	60	66	45	66
全国(公立)	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1



- ・小学校では、国語A、B、算数Bは、全国平均と差は見られなかったが、算数A、理科において、全国平均正答率を下回った。
- ・中学校では、国語Aは、全国平均と差は見られなかったが、国語B、数学A、B、理科において、全国平均正答率を下回った。
- ・小学校算数Aにおいて、最上位層の割合が全国に比べ低い傾向にある。

■質問紙調査 ※数値は、肯定的な回答の割合

[小学校]

質問事項	東部	鳥取県 (公立)	全国 (公立)
算数の授業の内容はよく分かりますか	80.7	80.8	83.4
理科の授業の内容はよく分かりますか	88.0	88.8	89.4
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	58.4	60.1	64.4
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	77.1	76.4	76.7
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	76.6	78.2	77.7
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	69.9	68.9	67.6
自分には、よいところがあると思いますか	82.0	83.6	84.0
将来の夢や目標を持っていますか	81.6	81.5	85.1
今住んでいる地域の行事に参加していますか	78.0	78.2	62.7
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	61.3	62.1	63.8

[中学校]

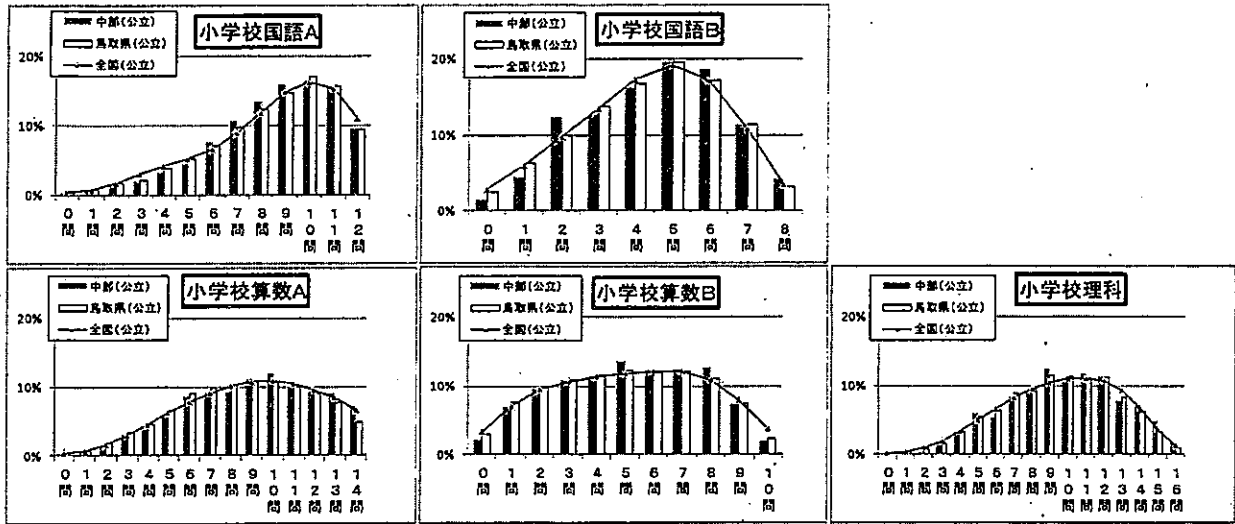
質問事項	東部	鳥取県 (公立)	全国 (公立)
数学の授業の内容はよく分かりますか	66.5	68.6	71.0
理科の授業の内容はよく分かりますか	72.3	68.0	70.0
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	35.1	36.5	38.7
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	78.1	76.8	73.8
生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	79.1	77.7	76.3
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	57.4	54.5	52.1
自分には、よいところがあると思いますか	79.7	79.9	78.8
将来の夢や目標を持っていますか	72.6	71.3	72.4
今住んでいる地域の行事に参加していますか	54.0	53.6	45.6
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	63.4	60.6	59.3

- ・小中学校とも「算数・数学の授業の内容がよく分かる」「算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童生徒の割合が、全国に比べ低い。
- ・「理科の授業の内容がよく分かる」と回答した児童生徒の割合が、小学校では全国に比べて低いが、中学校では高くなっている。
- ・小中学校とも「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童生徒の割合が、全国に比べて高い。
- ・小学校では、「自分にはよいところがあると思う」「将来の夢や希望を持っている」と回答した割合が全国に比べて低いが、中学校では、わずかに全国平均よりも高い。
- ・小中学校とも「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合が、全国に比べてかなり高い。

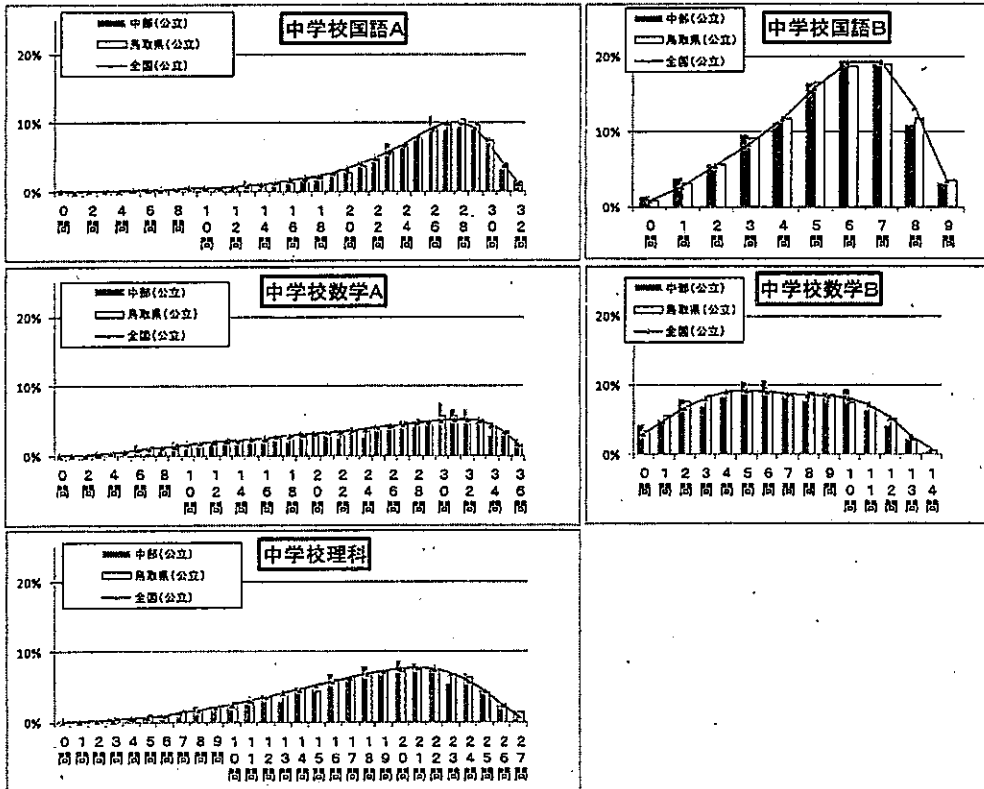
- ・昨年度までの本調査の結果から、学力向上に向けて家庭学習の充実が必要であると捉え、各市町ごとに指定した5中学校区において、家庭学習における学びの質の向上についての共通理解・共通実践、保護者啓発等の取組を各市町教育委員会と連携しながら推進している。
- ・各学校の授業改善の中心的な役割を担う研究主任を対象とした学びの質向上研修会を開催し、授業改善や家庭学習の質の向上について研修し、各校の研究推進についても情報交換を行った。
- ・東部地区指導主事等連絡協議会を年3回開催し、学力向上に向けた授業改善や家庭学習の質の向上についての協議、各市町の取組の共有等、市町教育委員会と連携して取組を進めている。
- ・年度当初に全小中学校を訪問し、研究推進に係る取組、全国学力・学習状況調査の結果活用状況と授業改善に向けた取組への助言等を行っている。
- ・要請訪問の際に、課題の見られる問題を紹介し、求められている学力や系統的な指導の必要性等について説明を行っている。
- ・エキスパート教員の優れた授業技術について学ぶためのワークショップを開催し、授業づくりについて理解を深めている。

■教科に関する調査

	小学校国語A	小学校国語B	小学校算数A	小学校算数B	小学校理科
中部(公立)	72	56	65	51	61
鳥取県(公立)	71	55	62	50	60
全国(公立)	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3



	中学校国語A	中学校国語B	中学校数学A	中学校数学B	中学校理科
中部(公立)	76	59	67	45	66
鳥取県(公立)	76	60	66	45	66
全国(公立)	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1



- ・小学校では、全ての教科において、全国平均と差は見られないか、上回っている。
- ・中学校では、国語A、数学A、理科は全国平均と差は見られなかったが、国語B、数学Bが全国平均を下回っている。
- ・小学校国語Aでは、下位層の割合が低く、中位層の割合が高い。
- ・中学校国語B、数学Bでは、中位層の割合が高く、上位層の割合が低い。



■質問紙調査 ※数値は、肯定的な回答の割合

[小学校]

質問事項	中部	鳥取県 (公立)	全国 (公立)
算数の授業の内容はよく分かりますか	82.6	80.8	83.4
理科の授業の内容はよく分かりますか	93.0	88.8	89.4
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	60.4	60.1	64.4
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	76.2	76.4	76.7
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	80.2	78.2	77.7
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	70.1	68.9	67.6
自分には、よいところがあると思いますか	84.0	83.6	84.0
将来の夢や目標を持っていますか	81.4	81.5	85.1
今住んでいる地域の行事に参加していますか	87.2	78.2	62.7
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	63.5	62.1	63.8

[中学校]

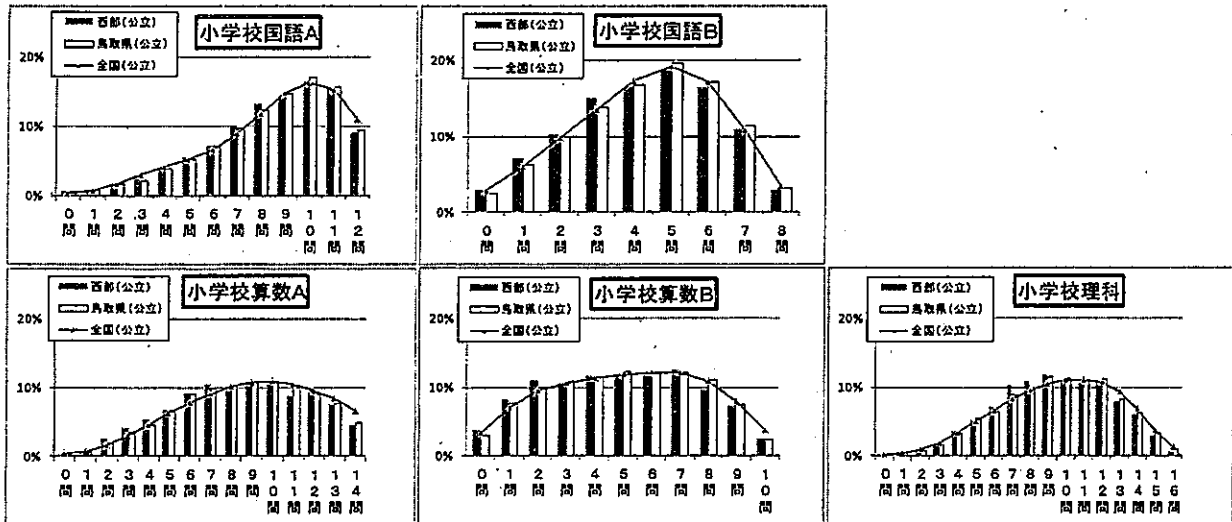
質問事項	中部	鳥取県 (公立)	全国 (公立)
数学の授業の内容はよく分かりますか	69.0	68.6	71.0
理科の授業の内容はよく分かりますか	66.0	68.0	70.0
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	38.4	36.5	38.7
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	76.7	76.8	73.8
生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	77.2	77.7	76.3
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	59.0	54.5	52.1
自分には、よいところがあると思いますか	80.7	79.9	78.8
将来の夢や目標を持っていますか	73.9	71.3	72.4
今住んでいる地域の行事に参加していますか	62.0	53.6	45.6
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	60.2	60.6	59.3

- ・小中学校とも「算数・数学の授業の内容がよく分かる」と回答した児童生徒の割合が、全国に比べて低い。
- ・「理科の授業の内容がよく分かる」と回答した児童生徒の割合が、小学校は全国に比べて高いが、中学校では低くなっている。
- ・「課題解決に向けて、自分で考え自分から取り組む」「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりする事ができる」と回答した児童生徒の割合が、小中学校ともに全国と比べて同程度、もしくは高いことから、「主体的で、対話的な学び」の実践が充実してきていると考えられる。
- ・「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合は、小学校は全国に比べて低い、中学校は高くなっている。
- ・「住んでいる地域の行事に参加する」割合は、小中学校ともに全国に比べてかなり高く、地域との関わりを強く持っていると考えられる。

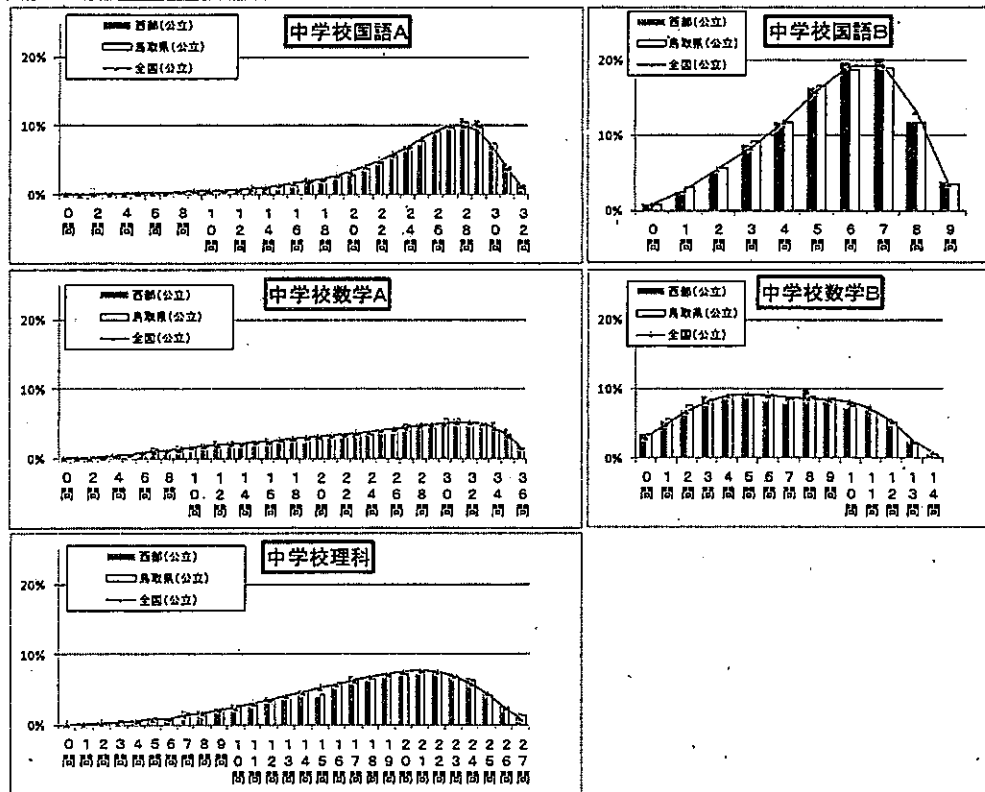
- ・「活用力アップにつながる授業改善事業(B-PLAN)」の取組として、過去に出題された全国学力・学習状況調査(小学校国語B・算数B)の問題を基に「活用問題集」を作成。中部地区全小学校の4、5年の担任に配布し、授業改善への活用を促している。モデル校を4校選定し、授業改善への支援を行うとともに、担任会や連絡協議会を開催し、取組の充実を図っている。また、年2回、教科調査官や学力調査官を招聘し、全国学力・学習状況調査の問題をどのように授業改善に生かすかについての研修会を計画している。さらに、中部小学校教育研究会と連携してその成果を普及し、中部地区小学校における児童の活用力向上を目指している。
- ・中部地区指導主事等連絡協議会を開催し、全国学力・学習状況調査の中部地区の課題や改善策、各市町の取組について共有する等、市町教育委員会と連携して取組を進めている。
- ・各小中学校の研究主任及び希望者を対象とした研究主任等研修会を年2回開催し、校内研究の進め方についての理解を深めるとともに、全国学力・学習状況調査の活用についての演習や活用状況の情報交換を行い、校内研究推進の具体的な方策を考える機会としている。

■教科に関する調査

	小学校国語A	小学校国語B	小学校算数A	小学校算数B	小学校理科
西部(公立)	70	53	61	49	58
鳥取県(公立)	71	55	62	50	60
全国(公立)	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3



	中学校国語A	中学校国語B	中学校数学A	中学校数学B	中学校理科
西部(公立)	77	61	66	46	66
鳥取県(公立)	76	60	66	45	66
全国(公立)	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1



- ・小学校では、国語Aで全国平均と差は見られなかったが、その他の教科では全国平均を下回った。
- ・中学校では、全ての教科で全国と差は見られない結果であった。
- ・小学校では、国語B、算数A、Bにおいて、下位層の割合が全国に比べ高い。
- ・中学校では、数学Bにおいて、下位層の割合が全国に比べ高い。

■質問紙調査 ※数値は、肯定的な回答の割合

〔小学校〕

質問事項	西部	鳥取県 (公立)	全国 (公立)
算数の授業の内容はよく分かりますか	80.2	80.8	83.4
理科の授業の内容はよく分かりますか	87.6	88.8	89.4
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	61.7	60.1	64.4
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	75.8	76.4	76.7
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	78.9	78.2	77.7
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	67.4	68.9	67.6
自分には、よいところがあると思いますか	85.0	83.6	84.0
将来の夢や目標を持っていますか	81.3	81.5	85.1
今住んでいる地域の行事に参加していますか	74.4	78.2	62.7
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	62.3	62.1	63.8

〔中学校〕

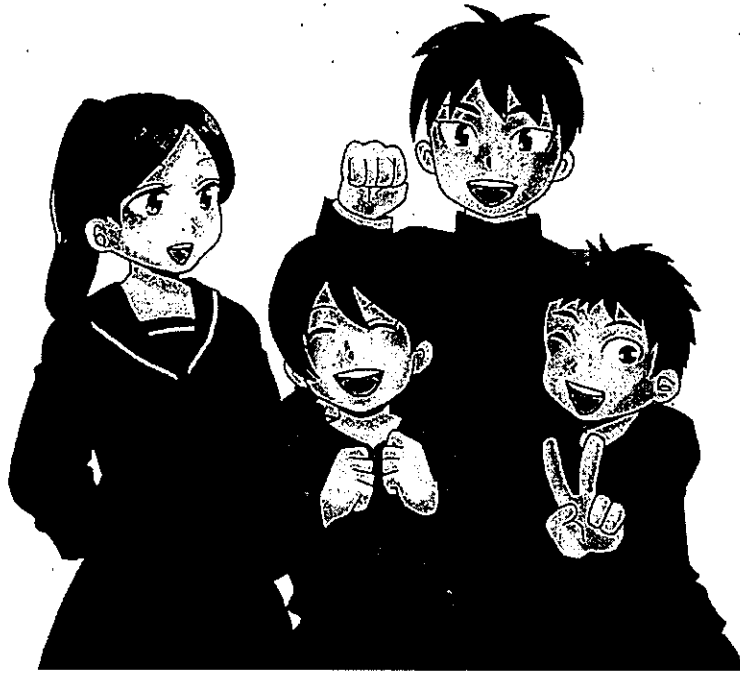
質問事項	西部	鳥取県 (公立)	全国 (公立)
数学の授業の内容はよく分かりますか	70.3	68.6	71.0
理科の授業の内容はよく分かりますか	64.9	68.0	70.0
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	37.0	36.5	38.7
1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	75.6	76.8	73.8
生徒の間に話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	76.7	77.7	76.3
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	49.8	54.5	52.1
自分には、よいところがあると思いますか	79.9	79.9	78.8
将来の夢や目標を持っていますか	69.0	71.3	72.4
今住んでいる地域の行事に参加していますか	49.7	53.6	45.6
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	58.2	60.6	59.3

- ・小中学校とも、「算数・数学や理科の授業の内容がよく分かる」と回答した児童生徒の割合が、全国に比べて低い。
- ・小学校では、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が全国に比べて高い。
- ・中学校では、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した生徒の割合が全国に比べて高い。
- ・小中学校とも、「自分には、よいところがある」と回答した児童生徒の割合が全国に比べて高いが、「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合は全国に比べて低い。
- ・小中学校とも「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合が、全国に比べて高い。特に小学校はかなり高くなっている。

- ・「平成30年度西部教育の未来を支える人材育成事業」では、西部地区の若手教員15名を先進校に派遣し、先進校の優れた取組を自らの授業や自校の学習課題の解決に生かすことで中核教員としての資質の育成を図っている。また、「平成30年主体的・対話的で深い学びの実現による学力向上事業」では実施校を8校選定し、「めあて-まとめ・振り返り」を意識した授業改善への支援を行うとともに、授業研究会において成果還元を行う。さらに、算数の教科調査官を招聘し、各校における学力向上に資する取組を支援するための講演会を年2回開催する。
- ・全国学力・学習状況調査の結果の分析から、西部地区の子どもたちの課題や「付けるべき力」を明確にし、校長会通信等で授業例を示しながら具体的な説明を行っている。
- ・西部地区の研究主任等情報交換会において「めあて-まとめ・振り返り」を意識した授業改善についての協議や演習を行い、指導事項とゴールイメージを明確にした授業構想や発問づくりの具体を共有している。



# 算数・数学の授業づくり



平成30年8月

## はじめに

平成30年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査の結果において、「算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」「算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」という児童生徒の割合は、全国より概ね高くなっています。このことは、初めて出合った問題であっても、自分がこれまで学んだことを使って試行錯誤しながら解決しようとする姿勢が児童生徒に育まれていること、また、答えを求めることだけではなく、求め方や解決までのプロセスを大切にした指導が積み重ねられていることを表すものと言えます。

しかしながら、「算数・数学の勉強は好き」「算数・数学の授業の内容はよく分かる」「算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」という児童生徒の割合は全国より低くなっています。また、教科に関する調査においては、算数A、B問題、数学B問題が全国平均正答率を下回り、算数・数学に課題が見られる状況が続いています。

今後は、これまでの算数・数学の授業づくりのよさを大切にしながら、全ての児童生徒が「あっそうか」「なるほど」と思えるような学び合いや、1単位時間の授業で学んだことを活用して類題や評価問題を解き、「よくわかった」と実感できるような授業づくりを進めていくことが求められます。

本県では、平成24年度から学びの質を高め、主に児童生徒の内発的な学習意欲や活用する力を高めることを目指し、「とっとりの授業改革【10の視点】」を大切にした授業づくりに取り組んできました。昨年度までの全国学力・学習状況調査学校質問紙調査の結果を見ても、「授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動や振り返る活動を計画的に取り入れている」「発言や活動の時間を確保して授業を進めている」「学級やグループで話し合う活動を授業で行っている」という学校が多くなってきており、日々の授業づくりの改善が進められているところです。

一方で、近年では、教員の大量退職、大量採用により若手教員の割合が高くなり、若手教員の授業力向上が喫緊の課題となってきています。そのような状況の中、本県の学力課題の解決に向け、引き続き「とっとりの授業改革【10の視点】」を大切にした授業づくりにより、算数・数学教育の充実を図っていくことが必要であることから、市町村教育委員会と共同して本書を作成しましたので、日々の授業実践や校内研修等においてご活用ください。

平成30年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙調査結果における肯定的な回答の割合(%)

質問事項	小学校	中学校
算数・数学の勉強は好きですか	58.5 (64.0)	52.3 (53.9)
算数・数学の授業の内容はよく分かりますか	80.8 (83.4)	68.6 (71.0)
算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	81.7 (78.4)	71.9 (70.3)
算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	60.1 (64.4)	36.5 (38.7)
算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	75.6 (78.5)	66.1 (69.2)
算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	87.3 (85.8)	80.6 (80.6)

※( )内は全国の割合

平成30年度全国学力・学習状況調査 教科に関する調査の結果

	小学校				中学校			
	算数A		算数B		数学A		数学B	
	本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
H30	62	63.5	50	51.5	66	66.1	45	46.9
H29	77	78.6	46	45.9	63	64.6	48	48.1
H28	77.0	77.6	46.8	47.2	63.2	62.2	44.4	44.1

# 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

## みんなで創ろう！ とっとりの学び



鳥取県の子どもたちが、さらに伸びていくための

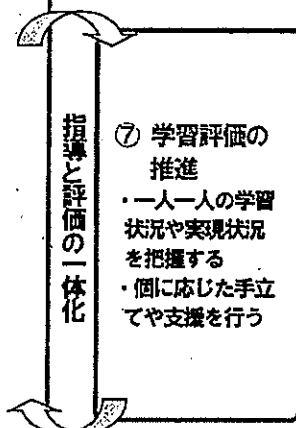
### とっとりの授業改革【10の視点】

知的な好奇心  
の喚起

活用する力を育てる  
言語活動と学習評価

次につながる  
振り返り

<p>① 魅力的な課題・教材の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら問いを見出し、調べてみたい、みんなで考えてみたい課題や教材を提示する</li> <li>・学習への見通しを持たせる</li> </ul> <p>② 体験的な学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学んだこととのつながりを意識させる</li> <li>・地域の人・もの・ことなど日常生活とのつながりを意識させる</li> <li>・具体物や視聴覚教材を使用する</li> <li>・実験や作業を取り入れる</li> </ul>	<p>③ 資料の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決に必要な資料を使って調べたり、考えたりする学習を設定する</li> <li>・考えの形成のために情報を精査させる</li> </ul> <p>④ 思考の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べたことやわかったことをノートに書かせる</li> <li>・問題の解き方や考え方をノートに書かせる</li> </ul> <p>⑤ 説明・発表の機会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・考え方や理由を筋道立てて説明する学習活動を設定する</li> </ul> <p>⑥ 学び合う活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいをはっきりさせ、新しい考えを、みんなで生み出す活動を設定する</li> <li>・考えを広げたり深めたりする活動を設定する</li> <li>・意見交換や議論の場を設定する</li> </ul>	<p>⑦ 学習評価の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の学習状況や実態状況を把握する</li> <li>・個に応じた手立てや支援を行う</li> </ul>	<p>⑧ 学習を振り返る活動の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「振り返り」の時間を設定し、達成感・成就感を味わわせる</li> <li>・次の学習の課題やポイントがつかめるよう工夫する</li> </ul> <p>⑨ 家庭学習と連動した学びの定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で学んだことが家庭での復習や予習および自主的な学習につながるような支援に努める</li> </ul>
--	--	--	---



⑩ 落ち着いたのびのびと学べる環境づくり（学びの集団・人間関係づくり）

## 「主体的・対話的で深い学び」と

## 「とっとりの授業改革【10の視点】」との関わり

本県においては、「とっとりの授業改革【10の視点】」を授業改善の視点として位置づけることで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につながると考えています。

主体的・対話的で深い学び	「とっとりの授業改革【10の視点】」の中で関係の深い視点
<p>&lt;主体的な学び&gt;</p> <p>学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につながる「主体的な学び」が実現できているか。</p>	<p>① ② ③ ④ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩</p>
<p>&lt;対話的な学び&gt;</p> <p>子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。</p>	<p>③ ⑤ ⑥ ⑩</p>
<p>&lt;深い学び&gt;</p> <p>各教科等で習得した概念や考え方を活用した「見方・考え方」を働かせ、問いを見いだして解決したり、自己の考えを形成し表したり、思いを基に構想、創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。</p>	<p>① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑧ ⑨ ⑩</p>

# ととりの授業改革【10の視点】を踏まえた算数・数学の授業づくり

レベル2が鳥取県のスタンダードとなるよう授業改善を進めましょう。

	レベル1	レベル2	レベル3
① 教科の提示 ① 概念的な理解	■本時で何をどのように学ぶのか、児童生徒がイメージできるようにめあて（学習課題）を提示している。	■既習事項を活用する等、問題の提示の仕方を工夫し、児童生徒の興味・関心を高めるとともに、結果や方法の見通しをもたせている。	■提示された問題について話し合い、児童生徒に考える必然性をもたせるとともに、結果や方法の見通しをもたせている。
② 充実 ② 体験的な学習の	■問題解決に必要な具体物やICTを活用している。	■本時のねらいに応じて、身の回りの事象の観察や具体物の操作活動を設定したり、ICTを活用したりしている。	■本時のねらいに応じた具体物の操作活動や、ICTの活用を行うとともに、その活動や活用が効果的であったかを振り返り、指導の改善を図っている。
③ 資料の活用	■既習事項等、問題解決に必要な情報を教室内に掲示している。	■既習事項等、問題解決に必要な情報を教室内に掲示し、それらを活用している。 ■資料から必要な情報を見出したり、比較したりする活動を設定している。	■ノートや掲示物など、様々な情報を問題解決の糸口として活用させている。 ■資料を基に、根拠を明確にして考察する活動を設定している。
④ 思考の整理	■めあてとめあてに対応したまとめを板書している。 ■自分の考えや問題解決の過程を、ノートに書かせている。	■めあて、児童生徒の考え、めあてに対応したまとめを板書している。 ■自分の考えや問題解決の過程を、図・表や算数・数学用語を用いてノートに書かせている。	■学びの道筋が分かるように構成を考えて板書している。 ■友だちの考えと比較しながら、自分の考えや問題解決の過程を、図・表や算数・数学用語を用いてノートに書かせている。
⑤ 説明・発表の 機会の充実	■児童生徒が説明・発表する機会を設定している。	■算数・数学の用語を使って説明したり、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合ったりする機会を設定している。	■「事柄・事実」「方法・手順」「理由」のうち、何を説明させるのか指導上の意図を明確に持ち、算数・数学の用語を使って説明したり、図や式などを用いて数学的に表現し伝え合ったりする機会を設定している。
⑥ 学び合う活動の 充実	■本時のねらいを達成するための学び合う活動を設定している。	■何をどのように学び合うのか、学び合いの目的とゴールを明確にした学び合う活動を設定している。	■学び合いの目的とゴールを明確にして、児童生徒の実態や学習内容に応じた方法で学び合う活動を設定している。
⑦ 学習評価の推進	■本時のねらいに応じた適用題を準備するとともに、適用題に取り組む時間を確保している。	■適切な評価規準を設定し、本時のねらいに応じた適用題を準備するとともに、理解が不十分な場合の手立てを準備している。	■単元の評価計画に基づいた適切な評価規準を設定し、本時のねらいに応じた適用題を準備するとともに、児童生徒の理解に応じた手立てを準備したり、指導の改善を図ったりしている。
⑧ 学習の振り返り 活動の設定	■学習の振り返りの時間を確保している。	■児童生徒に対して、めあてと振り返りがつながるように、振り返る視点を明確に与えた上で、1時間の学習の振り返りをノートに書かせている。	■児童生徒に振り返る視点を明確に与えた上で、1時間の学習の振り返りをノートに書かせ、自分の学びの手応えや意義を感じさせたり、家庭学習や次の学習等への意欲につなげたりしている。



# 視点① 魅力的な課題・教材の提示

～子どもたちの目的意識を明確にし、  
解決のための見通しがもてるようにしましょう～

文章問題があると、答えを求めることだけが算数の授業では大事だと捉えがちですが、文章問題の中のある部分に今日学習するねらいがあるということを子どもたちに気付かせることが大切です。

文章問題とめあて（課題）を分けて書くということが多くの学校で取り組まれています。めあて（課題）を書くことが大切なのではなく、問題の中から、何が一番わからないところなのか、困っているところなのか、考えたらよいことなのかを子どもたちが話し合っめてめあて（課題）に集約し、本時の目的を明確にすることが大切なのです。

また、初めて出合った問題に対しても、これまでに似た問題を解決した際に用いた考え方や方法はどのようなことで、本時の問題解決に使えないかと、見通しをもって解決に当たろうとする態度を育むことも大切です。



## 小学校第4学年「小数のわり算」

問題 0.6Lのジュースを3人で同じように分けます。1人分は何Lになりますか。

今までに学習した場面と同じところや違うところはありませんか？

これまでに等しく分ける学習をしたことがあります。

ジュースの量が小数だけど、わり算になるのかな？

0.1がいくつ分かを考えると整数のときと同じように計算できます。

言葉の式で考えました。  
全体の量 ÷ 人数 = 1人分の量 だから  
 $0.6 \div 3$ になります。

テープ数直線図で考えました。  
 $\square \times 3 = 0.6$  で  
 $\square = 0.6 \div 3$ です。

どうしてわり算になると言えるのですか？

めあて 0.6 ÷ 3の計算の仕方を考えよう。

整数 ÷ 整数の場合からの類推だけで終わらせるのではなく、「なぜ、わり算になるの？」と問うことにより、テープ数直線図や言葉の式で演算決定の根拠を明らかにすることが大切です。  
その後、これまで学習してきた乗法、除法の学習を振り返り、小数を含む除法の計算をまだ学習していないため、考えるべき必要性があることを確認して、「0.6 ÷ 3の計算の仕方を考える」という本時のめあてに目的意識をもたせます。

結果の見通しと方法の見通しをもてるようにしましょう！！

- > 結果の見通し:「結果は大体どれくらいになりそうですか？」  
→「3で割るので、割られる数の0.6より小さくなります。」
- > 方法の見通し:「どのように考えたらよいですか？これまでに学習したことが使えますか？」  
→「液量を図に表してみようかな。」「0.1のいくつ分で考えられないかな。」「 $6 \div 3$ の計算と比べてみよう。」「単位をdLに直して考えたらどうかな。」

## 視点② 体験的な学習の充実

～子どもたちが数量や図形の意味を

実感を持って捉えることができるようにしましょう～

物を動かして考えたり、考えたことを実験して確かめたりすることは、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けるとともに、思考力・表現力を高めたり、学ぶことの楽しさや意義を実感したりすることにつながります。具体物を操作する活動と、考えたり説明したりする活動を結び付け、相互に活性化が図られるようにしましょう。

また、言葉による説明が十分でない小学校低学年の時期は、具体物を用いた体験的な活動を通して自分の考えを表したり、深めたりすることを大切にします。問題場面を式で表すとともに、数図ブロックなどを用いた活動を行い、それを言葉や図で表現することを繰り返すことで、進んで考えたり、表現したりする態度を育てていくことが大切です。

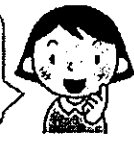
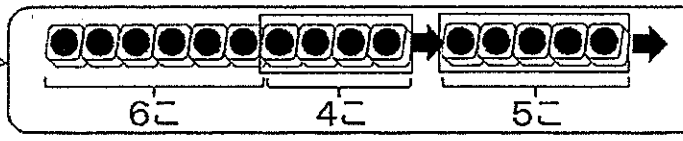
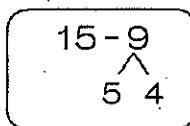
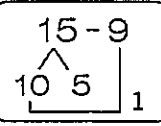
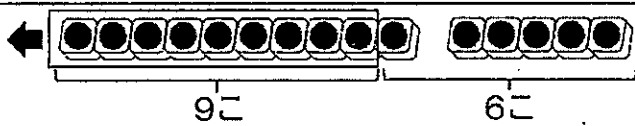


### 小学校第1学年「ひき算(2)」

個人思考の場面で具体物を操作する活動を取り入れることに加えて、評価問題の場面で本時の学びのよさを実感するための操作活動を行うということも考えられます。



今日は、みんなで13-9の計算の仕方を考えました。  
今日の学習で自分がよいと思った計算の仕方15-9の計算をしましょう。  
そして、数図ブロックを使って計算の仕方を隣の友だちに説明してみましょう。

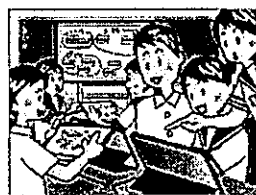


### 新学習指導要領で求められるICTの活用について

新学習指導要領(平成29年3月告示)において、情報活用能力が、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけられるとともに、ICTを活用した学習活動の充実に配慮することが明記されました。算数・数学においても、ICTを適切に活用した学習活動の充実に図ることが求められています。

#### ICTの効果的活用例

課題の把握  
(情報の提示による  
興味・関心の喚起)



協働での意見の整理  
(意見の共有、比較検討)

シミュレーションの活用、データ分析



発表(プレゼンテーション)や話し合い

# 視点③ 資料の活用

～子どもたちが既習事項を活用して

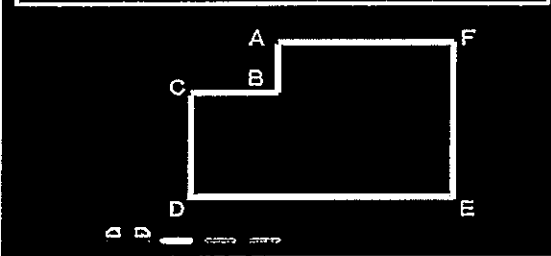
課題解決に向かえるようにしましょう～

算数・数学という教科は、系統性・順序性がはっきりしているという特質をもっています。このことは、初めて出合った問題であっても、既習の内容を活用して新しい知識や方法を生み出し、解決を図ることができるということを意味しています。子どもたちが蓄積している既習事項をもとに、できるだけ自分自身で追究することができるよう、既習事項を分かりやすくまとめたノート作りの指導や学習物・掲示物の整備を行うことが大切です。

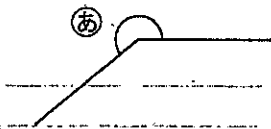


## 小学校第4学年「面積」

問題 次の図形の面積は、何 $\text{cm}^2$ ですか。



右の角の大きさをくふうしてはかりましょう。



まとめ

180°より大きい角をはかるときは、180°よりどれだけ大きいかというように分けて考えたり、360°よりどれだけ小さいかというように全体から余分な部分を引いて考えたりするとよい。



今まで学習したことが使えませんか？

「角とその大きさ」の学習のときに学んだ、分けて考える方法や全体から不要な部分を引いて考える方法が使えそうだね。

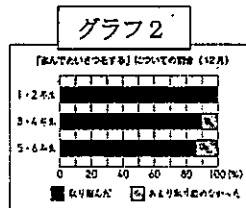
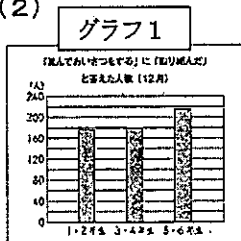


ノートや学習シートを見て、これまでの学習を振り返り、解決に生かしたり、教室内に掲示した友だちの考えや既習事項のまとめなどを参考にして、自分で考えられるようにしたりすることが大切です。教室内に掲示する際には、公式のみを掲示するのではなく、その公式を導き出した時、どのようにしたかという考え方を掲示することが大切です。

## 平成30年度全国・学力学習状況調査 小学校算数B問題から

### データの活用に関わる問題

B3 (2)



グラフ1とグラフ2を見て、あてはまるものを選ぶ問題

- 「進んであいさつをする」に「取り組んだ」と答えた人数が、いちばん少ないのは [ ア ] です。
- [ ア ] の、「進んであいさつをする」に「取り組んだ」と答えた人数の割合は、いちばん [ イ ] です

一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができるかを見る問題です。アの選択肢に5、6年生と回答した児童が67.3%あり、人数を答える問題であるのに、グラフ2から得られる情報で回答していると考えられます。複数の資料から必要な情報を収集し、根拠を明確にして説明する活動の充実が求められます。

正答率 県:22.4% 全国:23.9%

# 視点④ 思考の整理

～考えたことを書いたり、話したりすることで  
思考を整理する時間を確保しましょう～

子どものノートが、個人思考や学び合いの足跡が残っておらず、本時の問題と教員が書いたまとめを写しただけのノートになっているということはないでしょうか。小学校低学年であれば、そのようなノートになる場合もありますが、小学校中学年から、自分の考えた解決方法を言葉や図・式で書いたり、友だちの意見についての自分の考えを書いたり、授業についてのまとめや振り返りを書いたりするノートにしたいものです。「計算するノート」「黒板を写すノート」から、「思考力・表現力を伸ばすノート」へとノート指導の充実についても学校全体で取り組むことが大切です。



## 次の4点を明確に書く指導を行いましょ！

- ①問題場面を把握し、本時の目的を明確にすることができるよう、問題と本時のめあて(課題)を書きましょう。
- ②自らの考えを見直し、深めることができるよう、自分の考えを言葉、数、式、図などを用いて書きましょう。
- ③よりよい方法を学ぶことができるよう、友だちの考えを写したり、ポイントをまとめたりしましょう。
- ④今後の学習の見通しや自己評価に用いることができるよう、本時の学習のまとめと振り返りを書きましょう。

### 小学校第6学年「円の面積」

① **問題** 半径10cmの円の面積を求めましょう。  
**めあて** 円の面積を計算で求める方法を考えよう

正多角形の頂点の数を増やしていくと、底辺の合計は円周に近づいていく!!

円の中にぴったり入る正十六角形の面積を計算で求めることで考える。

② **自分の考え**  
16この二等辺三角形に分ける  
(底辺×高さ÷2)×16  
↓  
(円周÷16)×半径÷2×16  
↓  
円周×半径÷2

③ **友だちの考え**  
16この二等辺三角形を大きな三角形に変形する  
底辺×高さ÷2  
↓  
円周×半径÷2

**ポイント** 底辺と高さが等しい三角形は面積が等しい!

④

円の面積=円周×半径÷2  
=(直径×円周率)×半径÷2  
=(半径×2×円周率)×半径÷2  
円の面積=半径×半径×円周率

・円の面積は、半径×半径×円周率で求めることができる。  
・円の面積は、半径を一边とする正方形の面積の3.14倍になる。  
・今までに学習した図形を基に考えると、円の面積を計算で求めることができる。

複数の考えを比較して異同を捉えたり、一般的な方法としてまとめたりする場面では、自分の考えだけでなく、友だちの考えを理解しているということが不可欠です。友だちの発表を聞くだけでなく、しっかりとノートに写すことで、友だちの考えが理解できるようにします。

## 視点⑤ 説明・発表の機会の充実

～算数・数学の用語を使って説明したり、図や式などを用いて  
数学的に表現し伝え合ったりする活動を充実させましょう～

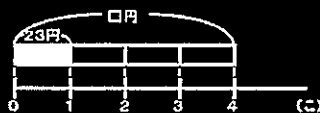
数学的な思考力、判断力、表現力等は、合理的、論理的に考えを進めるとともに、互いの知的なコミュニケーションを図るために重要な役割を果たすものです。数学的な思考力、判断力、表現力等を育成するため、見通しをもち根拠を明らかにし筋道を立てて考える活動を充実するとともに、言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解し、それらを適切に用いて、問題を解決したり、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し合ったりする学習活動などを充実させることが大切です。



小学校第3学年「1けたをかけるかけ算の筆算」

23円のおめを4こ買くと、何円になりますか。

1このねだん×こ数=代金



式  $23 \times 4$

めあて

23×4の計算の仕方考えよう

Aさんの考え

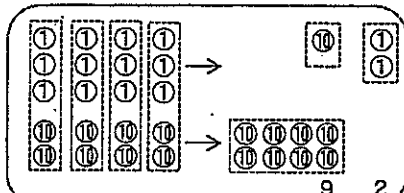
$$20 \times 4 = 80$$

$$3 \times 4 = 12$$

$$80 + 12 = 92$$



誰かAさんの考えを説明してくれませんか？



式について説明するときには、式以外の数学的表現を用いて説明します。



全国学力・学習状況調査の記述式問題では、「事柄・事実」「方法・手順」「理由」の3つが説明の対象となっています。算数・数学の授業において数学的に説明する活動を取り入れる際には、教師自身が、児童生徒に何をどのように説明させたいのかということを確認にした上で発問することが大切です。

児童生徒が発言したときに問い返してみましょう。



「どういことですか？」 ⇒ 「事実」について話し合う

「どうやってやりましたか？」 ⇒ 「方法」について話し合う

「どうしてですか？」 ⇒ 「理由」について話し合う

また、答えを出すことは得意でも式を立てることが苦手であるということが、全国学力・学習状況調査でも指摘されています。日々の授業において次のような言語活動に取り組むことが必要です。

- なぜその式になるのか。その式になる理由を、言葉、数、図などを使って説明する。
- 式に表された数の意味を、場面にそって説明する。
- なぜそのように式変形をしていいのか。計算のきまりを使うなどして、方法を説明する。
- 計算して出た答えは、場面に戻って考えるとどういう意味なのか、事柄を説明する。

## 視点⑥ 学び合う活動の充実

～学び合いの目的とゴールを明確にして、  
学び合う活動を設定しましょう～

これからの教育には、「自立した人格をもつ人間として、他者と協働しながら、新しい価値を創造する」児童生徒の育成が求められます。算数・数学の学習をとおして、次のような思いがもてる児童生徒を育てたいものです。

- ①自分で考えて問題が解けるようになりたい。自分で考えて解けるとうれしい。自分で考えればできる。(自立)
- ②自分だけが問題を解ければよいのではなく、クラスみんなで解けるようになりたい。そのために友だちに分かる説明ができるようになりたい。逆に、自分が分からないときは分からないと積極的に言う。言えばクラスの友だちがきっと分かるように説明してくれる。(協働)
- ③クラスのみんで考えれば、自分の考えもクラス全体の考えもよくなる。また、新たな考えも発見できる。(創造)



中学校第3学年「式の展開と因数分解」ペア学習で他者と交流する場での工夫

連続する2つの整数の2乗の差について、どのようなことが言えるかを予想しなさい。また、それが成り立つ理由を説明しなさい。

$$\begin{aligned} 5^2 - 4^2 &= 9 \\ 6^2 - 5^2 &= 11 \\ 13^2 - 12^2 &= 25 \\ (-10)^2 - (-11)^2 &= -21 \end{aligned}$$

- ①ノートを基に、自分の考えと相手の考えの共通点や相違点がどこなのかを確認できるようにする  
ノートには自分の考えを書く欄だけでなく他者の考えを書く欄を設けておくなど、他者の考えと自分の考えを比べられるようにします。また、説明に自信がもてない生徒には、他者との交流をとおし、そのよい点や参考になる点などを自分の説明に取り入れられるようにします。
- ②説明の内容・説明の仕方を相互評価できるようにする  
ノートを基にした他者との交流をとおして、考えを簡潔・明瞭・的確に伝えることができたかを互いに評価させます。例えば、「よく分かった」、「分かった」、「分からない」の3段階で相手の説明を評価させ、その際、何を根拠にしてそのように判断したのかも相手に伝え、改善の方法を一緒に考える場面を設けるなど「自分が分かればよい」というだけではなく、「相手に分かりやすく説明する」ことを意識付けて活動に取り組むことができるようにすることが大切です。

個人思考の場面で、ノートに何も書けない生徒には、問題を読んで思いついたこと、あるいは分からない部分をノートに書くよう指示します。その後、既習事項と似ていることはないかを考えさせ、ノートを使って振り返るように指示し、生徒自身による気づきを促します。

Point : 思いついたことを書かせる  
 ・結果は奇数になっている。  
 ・連続する整数の3つの整数の和については中学2年で学習した。  
 ・連続する2つの整数は  $n, n + 1$  と表せる。

算数・数学の授業では、授業のはじめに教師が学び合いをする目的を明確にするとともに、何の目的で話し合うのかを見童生徒に伝えることで、学び合いの目的を見童生徒も理解していることが大切です。

- (例) ・自分の考えを友だちに話すことで自分の考えをはっきりさせるため  
 ・答えを導いた方法について、根拠を基に説明できるようにするため  
 ・新しい考えを知り、いろいろな方法で答えを求められることができるようにするため  
 ・いくつかの方法の共通点を探り、今日の問題を解くためのポイントをまとめるため 等

## 視点⑦ 学習評価の推進

～適切な評価規準を設定するとともに、本時のねらいに  
 応じた評価問題で1単位時間の変容を見取りましょう～

児童生徒の学習状況を判断して、それに対する適切な対応を導き出すということが学習評価の一番大きな役割です。

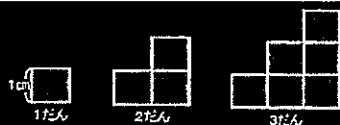
つまり、児童生徒の学習のできている部分と不十分な部分を見取り、その結果、どのような対応や指導が必要なのかということを確認することが評価の機能、働きということになります。

全ての児童生徒に確かな学力を付けるために学習状況を評価するという前提を改めて確認することが大切です。



### 小学校第4学年「変わり方」

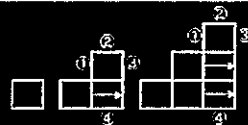
**問題**  
 1辺が1cmの正方形をならべて、階段の形をつかっていきます。



だんの数が変わると…  
 面積、正方形の数、まわりの長さ → 変わる

10だんのときのまわりの長さを求めましょう。

**めあて**  
 ともなう変わる2つの量の一方の値が分かっているときの、もう一方の値の求め方を考えよう。



だんの数(だん)	1	2	3
まわりの長さ(cm)	4	8	12

$1 \times 4 = 4$      $2 \times 4 = 8$      $3 \times 4 = 12$   
 (だんの数)  $\times$  4 = (まわりの長さ)

$\square \times 4 = \Delta$

**まとめ**  
 □から△を見つけ、□や△を値った式に代入すると、一方の値がわかっているときのもう一方の値を求めることができる。

この学習の評価問題として「100段のときは、まわりの長さは何cmでしょう。」という場合があります。本時の評価の観点「数学的な考え方」の場合は、「表をかくことで変化のきまりを見だし、最終的には言葉の式をつくることができる」という能力が身に付いたかどうかを見ることとなります。そうであれば、段数を増やすのではなく、例えば「三角形で段をつくると、どんなきまりが見つかるでしょう。」といった評価問題を用意することが必要になってきます。

学習指導の目標・内容について正しく理解すること、評価の計画を立てることが、授業づくりの第一歩になります。日々の授業づくりに、次の資料をぜひ活用してください。

- 小学校学習指導要領解説算数編(文部科学省)
- 中学校学習指導要領解説数学編(文部科学省)
- 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校算数】(国立教育政策研究所)
- 評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校数学】(国立教育政策研究所)
- 言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】(文部科学省)
- 言語活動の充実に関する指導事例集【中学校版】(文部科学省)

(参考)

<http://www.nier.go.jp/kaihatu/shidousiryu.html>(国立教育政策研究所)

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/senseioun/1300990.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/senseioun/1300990.htm)(文部科学省)

## 視点⑧ 学習を振り返る活動の設定

～振り返る視点を明確に与え、1時間の学習の成果を整理し、  
次の学習で使えるようにしましょう～

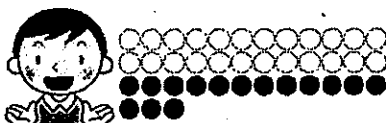
算数・数学の授業のねらいは、解決した問題に類する問題が、よりよい方法で解けるようになることです。そのためには、解法を振り返り、何が大切なのか、今後はどのように考えるとよいのかをまとめることが大切です。これが算数・数学の授業における振り返る活動です。

ただ単に「感想を書きましょう。」とすると、「おもしろかった」、「難しかった」などの反応が多く、児童生徒の理解についての反応を読み取ることができません。そこで、「大切だと思ったこと」、「友だちの考えでよいと思ったところ」、「これから使ってみてみたいと思った考え方」などの振り返る視点を示すことが必要です。

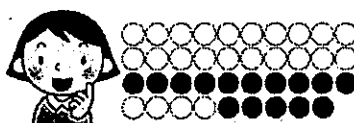


小学校第2学年「たし算とひき算のひっ算」

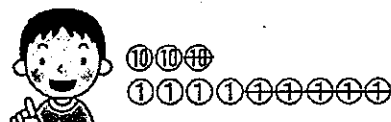
めあて 39-15の計算の仕方を考えよう



Aさん



Bさん



Cさん

$$\begin{array}{r} 39 - 15 \\ 30 \overset{9}{\underset{9}{\phantom{0}}} \quad 10 \overset{5}{\underset{5}{\phantom{0}}} \\ 30 - 10 = 20 \\ 9 - 5 = 4 \\ 20 + 4 = 24 \end{array}$$

Dさん

本時の学習のまとめは、全ての児童に共通で、「十の位と一の位に分けて計算するとよい」となります。

振り返りは、それぞれの学びによって変わります。個人思考の場面で左のように考えていたAさんには、「10のまとまりを考えるとよい」、Bさんには、「 $\textcircled{10}\textcircled{1}$ を使うと簡単に表せる」といったように、一人一人の児童にどのような感想を期待するのかということを明確にして、授業を行うことが大切です。

数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力

中学校新学習指導要領では、数学で養う力の一つとして「数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力」が挙げられています。

数学が歴史的に発展しているのは、一旦解決された問題やその解決過程を振り返り、問題の条件や過程を見直したり、共通する性質を見いだしたり、概念を一般化したり拡張したりする活動を数学者たちが続けているからです。

数学の事象についての問題解決の指導に当たっては、振り返ることによる新たな問題の発見を生徒に促すことが大切です。その際、得られた解決に関して、次のような新しい知識を得る視点を明確にしつつ、さらなる活動を促すことも大切です。

- 他に分かることがないかを考えること
- 問題解決の過程を振り返り、本質的な条件を見だし、それ以外の条件を変えること
- 問題の考察範囲自体を広げること
- 類似な事柄の間に共通する性質を見いだすこと

【作成】平成29、30年度指導主事等研究協議会

(県教育委員会と各市町村教育委員会の指導主事等による共同作成)



## 1 背景・現状

- 社会のグローバル化が加速する中、アイデンティティ（主体性、自己同一性）の醸成を図りながら、ふるさと鳥取県に誇りと愛着を持ち、郷土を支える人材の育成が求められている。
- 学校現場においては、次のような法令、計画等に基づき「ふるさと教育」を実施している。  
学校教育法 ⇒ 「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う」  
学習指導要領 ⇒ (例) 小学校社会科「地域社会に対する誇りと愛情、我が国の国土と歴史に対する愛情を涵養することは、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛することなどにつながるものである」  
鳥取県教育振興基本計画 ⇒ 「ふるさと鳥取県に誇りを持ち、未来を創造する力」の育成を目指す
  - ・ふるさとの自然、歴史と伝統を守り、受け継ごうとする姿勢
  - ・地域やふるさとに誇りと愛着を持ち、その発展に貢献しようとする姿勢
- 今後も人口減少社会が予想され、県議会や鳥取産業人材育成強化会議などの様々な場面において、若者の県外流出が大きな課題となっており、人口減少への歯止めをかける対策が急務となっている。

## 2 ふるさと教育の現状（別紙参照）

- 各教科領域において、「ふるさと鳥取県に誇りを持ち、未来を創造する力」の育成を図る取組が行われている。
- 各市町村において、副読本を作成したり、地域の方々をゲストティーチャーとして活用したりするなど、地域の特色を活かした取組が進められている。

## 3 成果と課題

〔数値はH30全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より抜粋（ ）は全国平均〕

【成果】地域の行事やボランティア活動に参加したことがある児童生徒は全国平均より大きく上回っており、子どもたちと地域の結びつきが強いことがうかがえる。

・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に肯定的な回答をした児童生徒の割合が高い。

小学校 78.2% (62.7%) +15.5%      中学校 53.6% (45.6%) +8.0%

・「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」に肯定的な回答をした児童生徒の割合が高い。 小学校 44.8% (36.1%) +8.7%      中学校 59.6% (51.8%) +7.8%

【課題】地域や社会に関心を持ったり、良くするために何をすべきかを考えること、また、将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合が低く、より良い社会づくりへの意欲の醸成に課題がある。

・「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に肯定的な回答をした児童生徒の割合が低い。 小学校 46.5% (49.9%) -3.4%      中学校 37.2% (38.7%) -1.5%

・「将来の夢や目標を持っていますか」に肯定的な回答をした児童生徒の割合が低い。

小学校 81.5% (85.1%) -3.6%      中学校 71.3% (72.4%) -1.1%

## 4 対応策（案）

## ①校種間の連携強化・横展開

⇒【新規】ふるさと教育の体系化及び児童生徒用「鳥取県版ふるさと教育読本」（仮称）の作成・活用

- ・市町村や学校単位での取組を活かしながら校種間連携を進め、鳥取県として小中高で一貫したふるさと教育の体系を整理するとともに、義務教育から高等学校への探究的な学びへの接続を図る。
- ・鳥取県民ならだれでも知っているような人物、事柄等を集めた児童生徒用「鳥取県版ふるさと教育読本」（仮称）を作成し、全県で共通して取り組む授業の進め方（スタンダードモデル）を検討する。

## ②郷土愛や志を持つ児童生徒の育成に向けた取組の推進

⇒【新規】児童生徒のあこがれや目標となる人と出会う機会の提供

- ・全国で活躍している鳥取県出身者や地元で活躍している者を招聘し、将来の夢や目標を持つ態度を育成するための講演会やシンポジウム等の開催を通して、地域やふるさとに誇りや愛着を持ち、将来の地域を担う人材の育成を図る。

「ふるさと教育」の実施状況について

<別添2-1>

平成30年9月10日  
小 中 学 校 課

	<p>③その他 (キャリア教育、文化芸術との触れ合い等)</p>				
<p>鳥取市</p>	<p>②自然体験、地域交流、地域学習</p>	<p>○中山ふるさと体験活動支援事業【宿泊学習】(H30年度は小学校13校) …佐治町の農山村での生活体験を通して、豊かな人間性や社会性などを育むとともにふるさとと自然や文化のすばらしさを、人の温かさにふれることにより、児童にふるさとのよさを実感させる。 ○砂丘探検【総合】(義務教育学校後期課程) …砂丘を訪問し、修学旅行先の外国の方に声をかけ、配布する。 ○フアンキョウの生産と郷土産の紹介【特別活動(修学旅行)】(義務教育学校後期課程) …修学旅行先で外国の方に英語を使って地域をアピールする。</p>	<p>○鳥取市小中学校道徳郷土資料集【鳥取市の志】の活用【道徳】(全小中)</p>	<p>「総合計画」あるいは「教育振興基本計画」「教育大綱」等に示されている「ふるさと教育」に関する記載</p> <p>「鳥取市教育振興基本計画」</p> <p>○基本理念 「ふるさとを思い、志をもつ子を育て、夢と希望に満ちた次代を“ひらく”！」 基本方針Ⅱ 「郷土愛を醸成し、豊かな心を育みます！」</p>	
<p>岩美町</p>		<p>○全校海水浴・砂の像づくり【特別活動(学校行事)】(小) …ジオパークに認定されている海岸での活動を通して、自分たちの住む地域のすばらしさを体感したり自然に親しんだりする。 ○海の学校(全校海水浴、遠泳、シュノーケリングなど)【特別活動(学校行事)】(小) …ジオパークに認定されている海岸で地域の方の協力によって活動することで、自然や人のすばらしさを感じる。 ○小田川に魚を【総合】(小) …地域の川が多くの人々の願いで守られていることを知り、自分たちができることをしようとする。</p>	<p>○「ふるさと人物誌」の活用(全小中)</p>	<p>「第10次岩美町総合計画・基本構想」「岩美町教育大綱」</p> <p>○基本目標 「(2)ふるさとを想う心を育み、心豊かに暮らせるまち」</p>	
<p>八頭町</p>		<p>○八東川(又は私郡川の自然守り隊【総合】(小) …身近な川での体験をしたり、川を守る人や様々な活動から考えたりし、自然豊かな地域のよさから学ぶ。 ○郷土をひらく、安藤井手【総合、社会】(小)【道徳】(全小) …地域の改善のために安藤井手を造った安藤伊右衛門の生き方から学び、地域への思いを深め、誇りを持つ。 ○八頭町の未来をえがこう【総合、国語】(全小) …町づくりの視点を学び、自分たちが考える八頭町を考え、意見を発表する。町長に伝えた学校もある。</p>	<p>○八頭町立小・中学校道徳教材集【八頭町の道徳】の活用【道徳】(全小中)</p>	<p>「八頭町教育ビジョン」</p> <p>○基本目標 「1 未来を切り拓く、明るく元気なやっ子づくり」 …郷土を愛しこれからの八頭町を担っていく自治力の高い人材である「やっ子」を育てます。</p>	
<p>若桜町</p>		<p>○若桜町の魅力を発信【特別活動(修学旅行)】(中) …東京新橋駅前で、パンフレットやタブレットを使って若桜の魅力を発信する。 ○WSPP(若桜スマイルプロジェクト)清掃活動【特別活動(児童生徒会活動)】(全小中) …町内の施設を、感謝の気持ちを込めて清掃する。 ○町太鼓学習【音楽】(全小中) …地域の太鼓の指導者に、地域の伝統文化を指導していただく。</p>		<p>「若桜町教育大綱」</p> <p>○基本目標Ⅲ 「子どもたちを支える教育環境づくり」 ③ふるさと若桜の特色ある学校づくりの推進</p>	

「ふるさと教育」の実施状況について

＜別添2-1＞

<p>智頭町</p> <p>「第7次智頭町総合計画」</p> <p>○基本計画 「施策3 郷土愛を育てられるように」</p>	<p>○郷土資料「わたしたちのふるさと」智頭町の活用【社会 総合】(小)</p> <p>○郷土資料「ふるさと」に学ぶ林業副読本「山形地区振興協議会」の活用【総合】(小)</p>	<p>○もちもちの木プロジェクト【総合】(小) …トチの苗の植樹、トチの葉摘み、餅つき(トチ餅)などをとおして、トチの森づくりに関わる。</p> <p>○智頭の森林に学ぶ【総合】(小) …智頭林業資料展示室(旧山形小)の見学や枝打ち作業の体験を通して、智頭林業について理解を深める。</p> <p>○智頭町歴史発見、智頭の取組から学び【総合】(小) …智頭町の歴史や取組に学び、地域と自分の関わりを見つめる。</p>	<p>○「ちづるマイルプロジェクト【総合】(中) …智頭町の活性化につながる取組を企画し、智頭町百人委員会に提案して自分たちの手で実践する。</p> <p>○地域に学ぶタグラグちづる【総合】(中) …地域での取組体験を通して、地域の方とふれあいがちづるくこの意味を学ぶ。</p>
<p>倉吉市</p> <p>「教育振興基本計画」</p> <p>○重点施策 「倉吉に誇りと愛着を持つ子どもを育成」</p>	<p>○小学生郷土読本「わたしたちの倉吉」の活用(金小)</p> <p>○中学生郷土読本「くらよし風土記〜倉吉学入門」の活用(金中)</p>	<p>○「葉の花プロジェクト【生活・総合】(金小中) …ふるさと倉吉を象徴する花として、地域の方と協働して種を蒔いたり、地域の方に花を配ったりする。</p> <p>○「地域のこともっと知ろう」(太一車、ボテ茶等)【総合】(小) …地域で暮らすことのできる歴史や文化について話を聞いたり、体験をしたりする。</p> <p>○「ふるさと発見ウォークラリー」【総合】(中) …地域の名所を縦割りグループで巡り、ふるさとのよさを再発見する。</p>	<p>○「郷土芸能」(牛追いかけ節、みつばし踊り)【総合】(小) …地域で伝承される郷土芸能について、地域の方から話を聞いたり、体験したりする。</p> <p>○「社会人講師に学ぶ」【総合】(中) …人と接するときの心構えや礼儀について学ぶ。</p> <p>○「看護の出前授業」【総合】(中) …看護の仕事について話を聞いたり、と簡単な看護技術体験したりする。</p>
<p>湯梨浜町</p> <p>「第3次湯梨浜町総合計画」</p> <p>○主要事業 「ふるさと教育の推進」</p>	<p>○小学校社会科副読本湯梨浜版(3、4年生向け)を作成中</p>	<p>○東郷池学習【総合】(小) …東郷池を中心とする自然、環境、観光、産業についての調べ学習や体験活動。</p> <p>○わかめのかき上げ【総合】(小) …わかめのかき上げ活動を通して、地域の方と協働して種を蒔いたり、地域の方に花を配ったりする。</p> <p>○海の環境を守ることや地域の産業への関心を高めるために、栽培漁業センターと漁業協同組合の協力を得て、泊瀬港でわかめを栽培する。</p> <p>○梨づくり体験学習【総合】(小) …地元名産の梨の袋かけや収穫を行うことで梨づくりについて学ぶ。</p>	<p>○全校なかよしプラウインド・ゴルフ大会【特別活動(児童会活動)】(小)</p> <p>○伝統芸能の継承【総合】(中) …伝統芸能を地域の指導者から学び、文化祭や地域行事等で発表する。</p>
<p>三朝町</p> <p>「三朝町教育大綱」</p> <p>○基本理念を支える6つの目標 「2 郷土に学び、郷土を誇れる子どもを育てる教育」</p>	<p>○三朝町小学校副読本「わたしたちの町 みささ」の活用</p>	<p>○三徳山投入堂登山【総合】(小)</p> <p>○三徳山散策【遠足】(小)…全校遠足で三徳山宝物殿や寺院見学を実施</p> <p>○温泉街探検【総合】(小)</p>	<p>○ふるさとの芸術家を生かした取組【美術】(中) …北条みらい伝承館での企画展示(前田寛治仙)を実施する。</p> <p>○職場体験学習【ワグワグ北条】(中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>
<p>北条町</p> <p>「北条町教育大綱」</p> <p>○基本施策 「3(7)地域を学び、まちを支える人づくりの推進」</p>	<p>○「わたしたちの北条町」地域副読本「まちの姿」の活用(金小)</p>	<p>○全校遠足地域散策【特別活動(遠足)】(金小)</p> <p>○歴史跡：由良台場【国語】(小)…町について調べ、紹介する。</p> <p>○町のイベント・産業【総合】(金小) …大好き大柴(地域)に出向いて調べ学習をしたり、地域の方にお話をさせていただくやふるさと北条自慢(特産物調べ、風車についての学習)に取り組む。</p>	<p>○ふるさとの芸術家を生かした取組【美術】(中) …北条みらい伝承館での企画展示(前田寛治仙)を実施する。</p> <p>○職場体験学習【ワグワグ北条】(中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>

「ふるさとと教育」の実施状況について

<別添2-1>

<p>琴浦町</p>	<p>「琴浦町教育大綱」 ○基本目標 「ふるさとを愛し、未来を拓く琴浦っ子の育成」</p>	<p>○ふるさとマップ「わたしたちの琴浦町」(3年)の活用【社会・総合】(金小) ○郷土の歴史学習資料「わたしたちのふるさと琴浦町」(6年)の活用【社会・総合】(金小)</p>	<p>○全校遠足地域観察(特別活動(遠足))【(小)】 …校外の豊かな自然や文化施設に触れることにより、郷土への関心を持つ。 ○「二十世紀製菓を体験しよう」【総合】(金小) …琴浦町の特産である二十世紀梨の栽培体験を通して、地域の人々の思いや願いを知る。</p>	<p>○職業体験学習「わくわく東伯」ワクワク赤崎【総合】(金中) …地元事業所で働くことで、地域をより身近に感じ、自分と地域社会との関わりについて考える。</p>
<p>米子市</p>	<p>「米子市教育振興基本計画(後期期間)の基本施策」 ○米子市の目指す教育基本理念 「ふるさとに学び、未来へつなぐ、学びのあるまち米子」</p>	<p>○市作成資料「ふるさと米子の先人に学ぶ郷土資料集」の活用【道徳】(金小中)</p>	<p>○ペンック・ブライド【総合】(小) …市の職員が小学校を訪問し、米子市が暮らしやすさ日本一であることや米子市の文化・伝承について話をする。 ○米作り体験【総合】(小) …地域の方と一緒に田植えや稲刈りを体験する。 ○「まち探検をしよう」【社会】(小) …自分の住んでいる地域を調べ、地図を作成する。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(金中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>
<p>境港市</p>	<p>「境港市教育振興推進大綱」 「境港市教育振興基本計画」 ○豊かな心の育成 「地域に受け継がれている伝統や文化に関する学習の機会を設けるとともに、郷土の歴史や文化に対する理解を育む取り組みの推進」</p>	<p>○社会科副読本「私たちの境港市」の活用【社会】(金小)</p>	<p>○「ゆめっ子ひみつたんけんたい」へ広めよう！境港の宝物～【総合】(小) …市内の観光客や商店街の人々等へのインフォメーションや市職員への聞き取りを通して、境港の魅力を紹介するポスター等を作成する。 ○「ゆめっ子環境プロジェクト」～人にやさしい町づくり～【総合】(小) …市の職員等に市内のバリアフリーについて聞き取り、水ましけるロードのバリアフリー作戦を考える。 ○境港市緑(白州線)についての学習【総合】(小) …白州橋の生産者等から話を聞き、白州橋の良さや加工品等について学習する。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(金中) …市内すべての中学校が一斉に地域の事業所で職業体験をする。</p>
<p>南部町</p>	<p>「南部町教育振興基本計画(第Ⅱ期)～南部町教育ビジョン(平成30～35年度)～」 ○南部町の教育理念 「ふるさとを愛し、志高く、南部町から未来を切り拓くひとづくり～自立・共生・参画～」</p>	<p>○ふるさと学習副読本「わたしたちの南部町」の活用【社会・理科・生活・総合・まち未来科等】(金小中)</p>	<p>○「まち未来科」【(小中)】 …小中一貫で、9年間を見通した学習。ふるさと愛着力・将来設計力・社会参画力・人間関係調整力を身に付け、ふるさとに誇りをもつことや未来の南部町を創っていくこととする心算や態度等を培う。</p>	<p>○しごと☆未来体験(南部町版職場体験)【まち未来科】(金中) …7つの視点①あいさつ・礼儀②責任感③あきらめない心④仕事の尊さ・誇り⑤新しい発見⑥感謝の心⑦共感)を共有した事業所で職場体験を実施する。</p>
<p>伯耆町</p>	<p>「伯耆町教育振興基本計画」 ○学校教育が目指す人間像 「ふるさとに誇りを持ち、一人ひとりを大切にす</p>	<p>○町教委作成冊子「探検！発見！伯耆町」の活用【金小中】</p>	<p>○「伯耆」学習【総合】(金小中) …町内のすべての小中学校で、町内の伝統・文化や自然等について調べたり、地域の方から話を聞いたりする。 ○米作り体験【総合】(小) …地域の方と一緒に田植えや稲刈りを体験する。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(金中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>

「ふるさと教育」の実施状況について

〈別添2-1〉

<p>日吉津村</p> <p>日吉津村教育大綱」 ○基本理念 「活力あるふるさと日吉津を支える人づくり」</p>	<p>地域の方と農作物づくり(大豆・サツマイモ・白ねぎ)生活、総合【小】 …地域の方と一緒に農作物をつくり、豆腐やきな粉に加工したり、収穫祭を行ったりする。 ○日吉津村民俗資料館・地域の文化財(敬屋勤神社)見学【総合】(小) …民俗資料館や地域の文化財等を見学する。 ○役員、議会訪問(小) …6年生が訪問し、日吉津村について学ぶ。</p>	<p>地域の方と農作物づくり(大豆・サツマイモ・白ねぎ)生活、総合【小】 …地域の方と一緒に農作物をつくり、豆腐やきな粉に加工したり、収穫祭を行ったりする。 ○日吉津村民俗資料館・地域の文化財(敬屋勤神社)見学【総合】(小) …民俗資料館や地域の文化財等を見学する。 ○役員、議会訪問(小) …6年生が訪問し、日吉津村について学ぶ。</p>	<p>○ひえづ音頭(盆踊り)【特別活動】 …地域に伝わる踊りを全校で踊る。 ○ひえづのうた(ダンス)【特別活動】 …地域をPRするために作られた歌・踊りを運動会で踊る。 ○人材育成交流事業(仲間交流)【教育委員会主催】 …仲間交流を通して日吉津村のよさを再認識する。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(全中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>
<p>大山町</p> <p>大山町未来づくり10年プラン(大山町総合計画) ○基本計画 「第1章第1節 01 大山町で暮らすことに誇りを持つ子どもを増やそう」</p>	<p>○大山の素晴らしさを伝えよう【総合】(小) …大山登山の事前学習として大山の自然や文化について、町の職員から話を聞く。 ○大山検定(小中) …町教委主催で、大山検定を実施する。</p>	<p>○大山の素晴らしさを伝えよう【総合】(小) …大山登山の事前学習として大山の自然や文化について、町の職員から話を聞く。 ○大山検定(小中) …町教委主催で、大山検定を実施する。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>
<p>日南町</p> <p>日南町教育振興基本計画」 ○日南町教育の重点目標 「ふるさとを愛し、豊かな人間性と生き抜く力を育み、次世代を創造する優れた人材を育成する」</p>	<p>○冊子「日南町ゆかりの人物 佐武林蔵、井上清、松本清張、池田亀蔵」の活用(全小中) ○宝さがし【総合】(小) …日野川のオオササギやオオヨシロウの生態を調べたり、町の職員等から話を聞く。 ○りんご・米づくり【総合】(小) …農家の方と一緒にりんご・米をつくる。 ○ふる里まつりでのステージ発表【総合】(中) …町の文化祭(ふる里まつり)で劇や合唱等を披露する。(町の文化祭と中学校の文化祭のコラボ)</p>	<p>○冊子「日南町ゆかりの人物 佐武林蔵、井上清、松本清張、池田亀蔵」の活用(全小中) ○宝さがし【総合】(小) …日野川のオオササギやオオヨシロウの生態を調べたり、町の職員等から話を聞く。 ○りんご・米づくり【総合】(小) …農家の方と一緒にりんご・米をつくる。 ○ふる里まつりでのステージ発表【総合】(中) …町の文化祭(ふる里まつり)で劇や合唱等を披露する。(町の文化祭と中学校の文化祭のコラボ)</p>	<p>○職場体験学習【総合】(中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>
<p>日野町</p> <p>第2次日野町教育大綱」 ○豊かな人間性・社会性を育み、社会の進展に対応できる教育の推進 「日野町に誇りを持ち、日野町を愛する心」</p>	<p>○町教委作成資料「わたしたちのまち日野町【歴史編】」の活用【社会】(小) ○町保小中一貫教育推進委員会作成資料「わたしたちのまち日野町【自然編】」の活用【理科】(小、中)</p>	<p>○町内の公共施設、文化財及び自然等を学ぶ【社会・理科】(小) …町内の公共施設や文化財、自然等について調べ、町の素晴らしい歴史、文化、自然及び人々に触れる。 ○地域のボランティア活動(全小中及び日野高) …各地区で、平日の午後に、小中高合同でボランティア活動を行う。</p>	<p>○町内の公共施設、文化財及び自然等を学ぶ【社会・理科】(小) …町内の公共施設や文化財、自然等について調べ、町の素晴らしい歴史、文化、自然及び人々に触れる。 ○地域のボランティア活動(全小中及び日野高) …各地区で、平日の午後に、小中高合同でボランティア活動を行う。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>
<p>江府町</p> <p>江府町教育大綱(江府町教育振興基本計画) ○基本施策 「ふるさと教育の推進」</p>	<p>○郷土学習資料「わたしたちのまち江府町」の活用【社会】(小)</p>	<p>○アントレプレナーシップスクール短期集中プログラム【総合】(中) …地域に目を向け、町づくりの政策に活かすアイデアを生み出したり、地域の課題点等について調べたりし、地域の活性化の提案を中学生議会で行う。 ○サントリー「森と水の学校」プログラムの実施【総合】(小) …サントリー「森と水の学校」への参加と、学校で育てたブナ苗の植樹を行う。 ○江尾十七夜体験＜大鼓・こだいち踊り・灯るう作り・相撲＞【生活・総合】(小) …地域の方を講師に招き、体験をする。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>	<p>○職場体験学習【総合】(中) …地域の事業所で職業体験をする。</p>

平成29年度 <高校-地域>が連携した事業一覧

<別添2-2>

区分	地域連携の事業名	概要
鳥取東	「鳥取学」推進事業	大学、産業、自然、社会等のコースに分かれ、地元鳥取の産業界・研究施設等を訪問し、第一線で活躍されている方々から話を聞き郷土愛を育むとともに県内の産官学の諸状況について見識を深める。事前学習として、関係の事業等への理解を深め、また、事後学習として報告発表会を行う。
	地域ふれあい推進事業	生徒が自ら企画・実行し、考えて行動する力を育成する。 ・障がい者福祉施設の訪問や高齢者の方、町内会の方等との交流。 ・地域の中学校や小学校へ出向いて学習支援 ・県外生徒との生徒間交流(東日本震災で被災した地域)
鳥取西	思索と表現(フィールドワーク)	「グローバル化の中の地域創生」を課題研究のテーマに、地域貢献・地域活性化を図るための考え方や広範な活動状況、今後の展望を各分野で学ぶことで、地域の課題の本質を明らかにし課題解決の方向性を探る。 災害に強い街づくりを考えよう…幼稚園・保育園・介護施設・医療機関訪問 国際貢献を考えよう…鳥取大学国際交流センター、鳥取大学乾燥地研究センター訪問 若桜鉄道を盛り上げよう…若桜鉄道若桜駅、若桜観光協会、宿場散策等 鳥取の社会福祉を考えよう…さわやか会館訪問 ものづくりを考えよう…鳥取大学ものづくりセンター訪問 鳥取の医療看護を考えよう…鳥取大学医学部米子キャンパス訪問
鳥取商業	地元企業とのコラボ商品の開発	地域や企業との連携や商品開発、企画販売、情報発信などをおとして、地域貢献や地域活性化を図る。菌叢研究所(鳥取市)と連携しながら県産原木しいたけを素材としたしシビ開発。「きのこ王国鳥取県」の広報・普及活動を地域や生産者と連携しながら進める。 ・地産地消の推進を図るとともに、企業との協働により、しいたけを使った新商品の開発や弁当作りを行う。鳥商デパートや鳥取きのこ祭り、県総合芸術文化祭等各種イベントへ向けた商品開発、販売。
	企業人による面接力向上	鳥取青年会議所会員企業の若手経営者10名程度が、3年生就職希望者約50名に対して、地域社会に貢献する職業人としての心構えなどについて講話、面接指導を受ける。
	小高・中高連携事業	地域の中学校との連携を強化するため中学校への出前授業を実施。小学校の行事等への参加、生徒間交流、中学校及び商業高校の学習内容に触れることで相互理解、関心を高める。
鳥取工業	テクノボランティア	学習した技術・技能を活かして地域社会に貢献することで、生徒の成就感や学ぶ意欲を高める。
	地域企業連携事業	鳥取テクノヒルズに加盟し、定例会などに参加することにより、広く情報を集め、地域の企業の活動を学び、地域産業と連携するための方策を探る。
	ものづくり講演会	鳥工の卒業生で産業界等で活躍する企業人、鳥取にゆかりのある優れた技術を有する企業・技術者・職人による講演会を行い、地元鳥取が誇る技術や技の伝承の大切さやものづくりの素晴らしさ、誇りを再認識する。(株式会社中井修 営業部課長、スタジオブライトリング技術トレーナーなど)
	キャリア教育支援	進路ガイダンスを行い、地元産業界から外部講師を招聘し、生徒及び保護者に各産業界の業務内容や実態、それぞれの業界に進むために必要な学習内容について講演を行う。
	鳥工TEC	小・中学生や地域住民を対象にものづくり体験・おもしろ科学実験をおしてものづくりや実験の楽しさを体験してもらうとともに展示等により各科での教科内容を理解してもらう。

鳥取湖陵	地域ときらり	<p>「ふるさと鳥取」、地域を愛し、育てる心と態度を育成する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京新橋のアンテナショップでの出品・販売</li> <li>・プランター及び花壇装飾などを設計・製作し、地域の施設(JR鳥取大学前駅)等で展示</li> <li>・鳥取県食のみやこ推進課と連携して、ポスター等の作成</li> <li>・地域の農産物生産者生産者と協力して商品開発を進めていく。</li> <li>・地域の中学校への出前授業、ものづくり体験学習を行う</li> <li>・因幡の手づくりまつり等のものづくりを体験する地域イベントの参加</li> </ul>
	地場産プラザ「わったいな」における生産物販売実習(土曜授業等実施事業)	<p>生産から販売までの一貫した学習を完結させ、食品流通に関する学習の理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の生産物、清涼飲料水、野菜類などの販売</li> <li>・年間6回</li> <li>・参加生徒:1回8名程度(食品システム科・緑地デザイン科2・3年生希望者)</li> </ul>
鳥取緑風	福祉施設等でのボランティア	<p>通信制課程の生徒が社会に関心を持ち、主体的に社会をより良い方向に改革していきけるような、社会力を育成する</p>
青谷	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青谷学(地域への関心を高めるとともにまなびを深め、主体的に生きる力を養う)</li> <li>・青谷地域美化活動</li> <li>・青高活性化活動</li> <li>・地域の保育園との連携</li> <li>・ボランティア活動の推進</li> </ul>
岩美	イワッツ・プロジェクト	<p>岩美町内にある唯一の高校として、積極的に地域の活動に参加したり、地域に働きかける活動を行うことで生徒に岩美の地、そして自らの地を意識させ、地域から愛される高校を目指す</p> <p>①高めるイワッツ・プロジェクト!!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰海岸ジオパーク学習の取組…ジオパークガイド養成講座を受講し、ジオパークの現地学習を行う。</li> <li>・「イワッツ・ミッション」の取組…地域の方にゲストティーチャーとして関わってもらい、活動の成果を地域に発信する取組 ; テーマ「道の駅を盛り上げよう」「銀山を岩美町の観光地に」「網代地区の活性化」「岩美町花いっぱい運動」「岩美の食材を用いた商品開発」「岩美の魅力を発信」「東地区の活性化」</li> </ul> <p>②つなげるイワッツ・プロジェクト!!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海の学校…野外活動を学んだ生徒が地域の小学生と交流。</li> <li>・山の学校…農業を学んだ生徒が地域の小学生と交流。</li> <li>・浦富マラソンへの参加。</li> <li>・岩美町内清掃活動。</li> <li>・岩美町内小中学校との部活動を通じた交流。(茶道同好会・吹奏楽部・女子バレー部等)</li> </ul> <p>③広げるイワッツ・プロジェクト!!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩美高校アグレッシブPRプラン…広報誌「IWATS TIMES」の作成等</li> <li>・ジオパークを広げる…地域と協働して活動している県内外の高校と交流を通して、ブラッシュアップを図る。</li> <li>・海外に広げる…韓国江原道鉄原高校との国際交流を通してグローバル化への意識を高め、地域を見直すきっかけとする。</li> </ul>
八頭	八頭高愛し愛され運動	<p>地域や個人を尊重しながら協働する力をつけ、学校全体が生徒会自治活動に積極的に参画することを目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でのボランティア活動の企画実施(地域清掃活動、挨拶運動)</li> <li>・地域のネットワークづくり(部活動による部の特長を生かした地域貢献活動)</li> <li>・地域の高齢者福祉施設などへ華道部、書道部などが訪問、交流</li> </ul>
	八頭タワー充実事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「八頭高ライフ」中学生体験</li> <li>・教科でつながる八頭タワー(数学)</li> <li>・体育コース「地域の小学生との交流」</li> </ul>

智頭農林	地域とつながる林業人材育成プロジェクト(県版SPH事業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期就業体験(デュアルシステム)の導入と実践(森林組合、木工所等で5月から10月(審査期間、夏季休業中は除く)の毎週金曜日に就業体験を行う。)</li> <li>・現場を合理的に理解して、実践的な態度と技術を身につけ、「スペシャリストとして地域に貢献できる人材」を育成する。</li> <li>・地域理解のための基礎的科目の開発と実践</li> </ul>
	地元商店街における生産品の販売	智頭駅近くの空き店舗を活用して、自校で生産した農産物などを店舗(ちのりんショップ)で販売。地域の農家・企業と連携し、計画的な生産と仕入れに関する学習に取り組むとともに、地域の活性化を図る。また、智頭町百人委員会で取組の報告を行う
	特色ある専門教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棚田の保全活動や活用方法について学習する</li> <li>・智頭駅、智頭病院など地域の庭園を管理することで、学びの意欲を高める</li> <li>・地元産業藍染めを学び、地域の保育園児や高齢者との藍染め交流を実施</li> <li>・地域企業の専門技術を学び、地域の特産物を生かした製品開発を目指す</li> </ul>
	進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元商工会および商工会所属の地域企業による説明会の開催</li> <li>・地域企業へのインターンシップ</li> </ul>
	「ちのりんショップ」の実施(土曜授業等実施事業)	<p>地元商店街にショップを開設し、地域の活性化、生徒の経営感覚及びコミュニケーション能力の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校生産物及び地元生産物の販売</li> <li>・5月から12月(毎月1回)</li> </ul>
	技能検定試験合格を目指して(土曜授業等実施事業)	<p>造園工事2級・3級試験に向けて、県内の造園家を講師に招いて技術指導を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施時期:4~8月</li> </ul>
	曲げわっぱ教室(土曜授業等実施事業)	<p>智頭町と連携して、地域の人を対象とした曲げわっぱ教室で指導に関わることで、生徒の学習意欲を高めるとともに、地域の人への生徒理解に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・智頭町との打合せ</li> <li>・曲げわっぱ教室の実施(2学期に3回程度)</li> </ul>
野鳥の生態調査(土曜授業等実施事業)	<p>鳥取県東部における「野鳥を中心とした生物多様性を探究する」研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「バンディング技術」を活用した、渡り鳥の生態を調査</li> <li>・5月から11月(毎月土曜日1回)</li> <li>・参加生徒:森林科学科3年生3、4名</li> </ul>	
倉吉東	「倉吉東高のボランティア」活動	社会の構成員として自らの役割の自覚や、周囲の人々との連帯感を意識させることで、共に生きることの大切さを認識する
	「グローバル」人材育成	<p>山陰地方の歴史、文化、最先端の研究、技術等に直接触れる(現地視察)とともに、講義と解説を通して理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「株式会社バルコス」、淀江町「古代山陰と地域資源活用」、米子市「地域イノベーション戦略支援」、「地域ブランド開発 食のみやこ鳥取県の取組」など</li> </ul>
倉吉東定時制	じげ産業文化探訪	鳥取県のじげ産業や自然・文化等に触れ、しみながら、地域に対する理解や帰属感を深める。(大江の郷、砂の美術館)
倉吉西	グローバル人材育成事業	<p>社会や地域と関わることで、社会や地域の中における自分のアイデンティティや存在価値を発見させるとともに、地域で行われている様々な行事や取組に参加したり情報収集したりすることで、地域の良さや課題を発見し、将来地域で生きる自覚を高めるとともに、将来の生き方を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の情報の収集・展示、活用。県内、地域の特産品や話題、文化財等の紹介・展示(図書館)</li> <li>・地域振興に係る講演会(市町の地域振興課の職員)、地域振興提言検討会の開催(チャレンジグループ活動)</li> <li>・地域貢献活動の実施。(学校周辺の清掃活動、地域の方と一緒にあいさつ運動等)</li> <li>・フィールドワーク(鳥取(県庁を含め、県内企業を訪問))</li> </ul>



倉吉農業	農産物販売所づくり	校内に農産物販売所をつくり、地域の方に生徒が作った農産物を販売する。(年間13回予定) 学校での生産物を、地域のイベント等で地域の方に直接販売し、交流を深める
	異世代との交流推進	地域交流などを積極的にを行い、地域の方へ農業の楽しさ、厳しさ、倉吉農業高校の理解を深めてもらい、また、生徒のコミュニケーション能力の向上につなげる。 ・「おうまさんといっしょ」地域のまつりや小学校などに出かけ、乗馬交流を行う。 ・「たんぼの学校」生徒が指導者となり、小学生と一緒に田植え、稲刈り等を実践する。 ・「はなとやさい」近隣の保育園、高齢者介護や障がい者施設と交流し、野菜や花の栽培、収穫を行う。
	課題研究	高齢化が進み、買い物が必要な地域に出向き、本校の農産物を販売。(年間10回程度)
倉吉総合産業	地域と連携した「課題研究」の充実	「開かれた学校」として、地域との関わり合いを持ちながら、各種イベントを立案・計画・実施することで、社会の変化に対応できる企画能力や実践能力を育成する ・チャレンジショップ「くらそうや」の企画・運営 ・くらそうサロン(福祉施設等を訪問し、地域の方と交流)
	中学生工作教室	地域の中学生に電気科のもっている設備や技術力を提供して、ものづくりに興味を持つ中学生を育てる取組。(夏季、冬季休業中、年2回)
	読み聞かせボランティア	地域の子どもと絵本の読み聞かせをとおして交流することにより、ボランティア活動への関心を高め、社会性を培う。(上北条児童クラブの小学1、2年生対象、年4回)
	高齢者家庭との交流	電気科3年生が、高齢者家庭を訪問し、電気配線及び器具の点検・保全・正しい使用法の指導をする。
	チャレンジショップ「くらそうや」(土曜授業等実施事業)	商品販売実習や商品開発をとおして、ビジネスに必要な業務を合理的に行う能力を育成する。 ・独自ショップの企画・運営、講師による指導助言 ・9月から11月(10回程度) ・参加生徒:ビジネス科3年生
鳥取中央育英	地域探究の時間	地域に貢献する人材育成を実現するための取組 ・地域創造を軸に12のテーマを設定し、北栄町を中心に中部地区全域から「地域の人財」を求め(25人程度)指導を受けながら、フィールドワークを通して探究活動を行いその成果をまとめ発表する取組を行う。この活動を通して生徒が地域の魅力や課題を探究し、将来、自ら地域リーダーとなりふるさとを切り拓いていく志を立てる。 ・従来の「職場体験学習」を普通科のキャリア教育としてふさわしい内容に発展させ、「キャリア探究」に取り組む。地域産業の各分野(農・工・商・観光・医療・福祉・教育等)のブースを作り、説明を受けることを通して、進学・卒業後の生き方を考える機会とし、将来ふるさとに帰り、地域リーダーとなることをイメージさせる。
	夢ゼミ	地域で活躍する各分野のスペシャリストに依頼して、年間10回程度のミニ講演会を開く。参加者は有志生徒。
	地域創造ハイスクールサミット(学校連携チャレンジサポート事業)	隠岐島前高校をはじめ県内外の7校で「高校生が考える地域創造」をテーマに提言や意見交換を行う。 各校の取組を特殊な地域環境における事例と捉えずに、全国共通の課題として一般化することにねらいがある。高校生の意見を全国に発信したい。

米子東	ふるさと鳥取学講座 (土曜授業等実施事業)	ふるさと鳥取を知ることにより、ふるさとに対する誇りと自信を醸成する。また、知的好奇心と学問に対する興味・関心を喚起する。 1. 中海 2. 鳥の劇場 3. 本校 4. 青谷上寺地遺跡 5. 本校 (7~2月の土曜日)
	「みんなで子育て体験」事業	1年生全員が近隣の保育園を訪問し、保育体験を実施 ・社会の一員として、未来の親となるためにも「みんなで子育て体験」を促進することで豊かな人間性やコミュニケーション能力、キャリア意識の育成を図る。
米子東 (定時制)	自己実現力養成「職授業」	地元企業見学 生徒がアルバイトをしたことのない企業や事業所を教職員とともに訪問して、現場の仕事や従業員の様子を見聞して今後の進路選択を考える機会とする。
	定通教育充実事業	心身を育む「食」事業 ①もちつき体験②郷土料理作り体験 ・伝統的な行事や郷土に伝わる行事を体験することにより、食文化の歴史とその意味を知る。 「子どもの発達と保育」を現場から学ぶ ・保育士、専門家の話を聞き、乳幼児に対する理解を深める。
米子西	中高連携による芸術体験学習 (土曜授業等実施事業)	地域の中学校と書道&美術のアートパフォーマンスをとおして作品を完成させるとともに、中学校との交流を図る。
	リサーチリテラシー育成事業 (土曜授業等実施事業)	ふるさとの自然をフィールドワークし、正解が準備されていない自然現象に触れ、調査・研究の手法を体験することによって、リサーチリテラシーを育成すると共に、フィールドで活動する人との交流を図る。
	地域と連携した地域学習「ベイセイよなご塾」 (土曜授業等実施事業)	関係機関と連携したフィールドワークを通して、地域の歴史・経済・政治を学び、一人の地域住民としての社会認識を深めるとともに、地域に貢献する人材育成の一助とする。 ・米子の歴史を学ぶ(米子城周辺史跡) ・米子の司法を学ぶ(米子地方裁判所) ・地域の経済を学ぶ(江府町と地元企業)
	みらいチャレンジ活動	「総合的な学習の時間」を活用 ・地域の課題を設定、解決、地域イベントへの参加
米子	テーマ学習(社会人基礎力育成)	「米子市中心市街地活性化計画」を考えるグループ「米×米プロジェクト」と連携して、米子市中心市街地活性化基本計画をもとに、講演会、現地でのフィールドワーク、発表会を行い、生徒の地域社会に対する理解を深めさせ、職業観や社会人基礎力の育成を図る。
	地域連携推進プログラム	花壇用草花植栽活動 ・農業の授業で育てた花を、JR米子駅や近隣の公民館、米子市文化ホールへ提供している。  交流事業 ・ハイホットダンスフェスティバル(地域の学校のダンス部とのダンスを通じた交流) ・近隣の保育園児、高齢者と一緒にうどん作り交流会を実施。 ・吹奏楽部員が近隣の保育園児と音楽を通して交流を実施する。 ・UTA同好会が近隣の老人保健施設を訪問し高齢者と交流を行う。
米子南	地域との交流を通じた人財育成	地域との関わりを深め、コミュニケーション力育成を図り、将来の社会を担う人財を育成する ・学習活動発表会 ・生活文化科調理コース成果発表 ・中心市街地活性化事業 ・地元保育園への定期的な交流
	米南地域おこしプロジェクト	地域の発展に寄与する人財づくりのため、地域社会に関心を持ち、活性化について自ら考え、調査する能力を育成する ・地元生産者等と連携し、地域の食材を活用した商品の開発 ・地元主催の開催イベントに参加、開発商品の試食提供、販売実習 ・大都市圏での販売実習

米子工業	地域への貢献	<p>実習で養った技術を発揮し作成したものを地域社会に提供することで、生徒に達成感を実感させ、学習効果や技術の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の保育園、小中学校でのもの(おもちゃ)づくり等の出前授業及び交流</li> <li>・公共施設や地域の住民の家での電気工事(テクノボランティア)</li> <li>・ゴミストッカーを作成し地元自治会に寄付、駐車場のライン引きやベンチの制作など</li> </ul>
米子白鳳	豊かな心育成事業 (地域美化・環境保全活動)	<p>地域の一員として、貢献する心を育て、地域の取組と連携した環境保全活動に積極的に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設等の地域美化活動</li> <li>・マツムシソウ、ヒガンバナの植栽活動</li> </ul>
	定通教育充実事業 (チャレンジものづくり体験)	<p>地域の伝統文化や自然に触れる体験を積み重ねることで、円満な人間関係を築く能力、社会に適応するための技術を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さつまいもの植付・収穫・会食を通じた園児との交流</li> <li>・銭太鼓、傘踊り体験など</li> </ul>
境	境港地域連携プロジェクト	<p>小学生との交流事業(境高スクールプロジェクト) 本校生徒が学習・スポーツ・創作活動等を通して地元小学生と交流する。</p>
		<p>グレードアップ学習会 地域向けの学習会等を企画し、講座を設ける。</p>
		<p>地域からの要望に応える生徒活動 地域活動での書道パフォーマンスや茶会などを通して地域の活性化に寄与する。 地域向けの学習会等を企画し、講座を設ける。</p>
		<p>地域・全国へのPR活動 中学生向けのパンフレットや部活動紹介動画を作成し県内外に本校をPRする。</p>
境港総合技術	鳥取県版SPH事業 (学科間連携事業)	<p>総合技術フェア 各学科の学習成果の発表、展示、実演を地域の方々に発信する</p>
	県版SPH事業 (地域貢献と役立ち感の醸成)	<p>地域貢献と役立ち感の醸成を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・余子駅周辺環境美化活動</li> <li>・地元公民館と連携した「魚に親しむ調理教室」の開催</li> <li>・地域住民や境港市からの要望に対し、ゴミストッカーやベンチの制作</li> <li>・近隣公民館に対し、電気機器レスキュー隊を結成し、トラブルを解消</li> <li>・高校生出前授業(中学生対象「電気工事教室」、小学生対象「小物づくり・介護体験」)</li> </ul>
	県版SPH事業 (地域とつながる水産教育 ～さらなる連携を目指して～)	<p>地元水産業や県水産振興課と連携しながら、生徒にさまざまな体験をさせることを通じて、水産業への関心を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖合漁業体験(県内漁業協同組合受入)、沿岸漁業体験(県内漁業協同組合受入)</li> <li>・栽培漁業を学ぶ(県内栽培漁業センター等受入)</li> <li>・地元水産業を学ぶ(地元水産加工企業や県内市場等見学)</li> <li>・地元特産の水産物をより美味しく食べる方法(地元の講師を招聘し、講義・実演・実習を行う)</li> <li>・食のみやこ鳥取県のうまさを売り込め！蟹取県PR隊(山陽・京阪神方面の物産展で販売・振舞い・PR)</li> </ul>
	鳥取県版SPH事業 (ふれあいをとおしたコミュニケーション能力の向上)	<p>様々な世代・立場の方々と触れ合いでコミュニケーション能力を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の福祉施設で、子ども・高齢者・障がいのある方々との交流</li> </ul>
	地域とつながる土曜授業 (土曜授業等実施事業)	<p>地域のイベントに参加し、それぞれの学科の特性を活かした活動を行うことにより、地域連携・地域貢献・情報発信を果たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タッチプール(7回) 海洋科希望者10名程度</li> <li>・魚の神経締めPR活動(4回) 海洋科・電気電子科希望者5名程度</li> <li>・実習製品販売(11回)</li> <li>・食品・ビジネス科2・3年希望者10名程度</li> <li>・交流ステージ出演、ケアコンテスト運営補助(3回)</li> <li>・福祉科2・3年希望者10名程度</li> <li>・講師招聘(1回)</li> <li>・食品・ビジネス科3年38名</li> </ul>

日野	農業科における地域交流活動	<p>地域に開かれた学校づくりを推進し、農業・農村が持っている多面的機能を活用し、地域住民の生涯学習の支援を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鏡陵大学(学校農場を開放して、地域住民に対し、野菜の栽培や加工の体験機会を提供する)</li> <li>・ボランティア団体と共同してそば打ちや餅つきを行い、地域の福祉施設や独居老人宅に配る</li> <li>・地域の小学生に田植え等の農業体験活動の機会を提供する。</li> </ul>
	日野郡の新たな魅力発掘・発信事業	日野郡内でフィールドワークを行い、日野郡の歴史、産業、観光などを研究し、ポスターやパンフレット、CMなどを作成し、日野郡の観光プランや活性化プランを考える
	地域リーダー人材育成事業	和歌山大学の大学生と連携し、地域農家の調査を行い、農業経営に対する実態調査を行う。より高度な調査方法や分析方法、地域住民とのコミュニケーションの在り方などを学ぶとともに、地域との継続的な連携により、日野町の活性、再生の方策を探る。
	日野高ショップ (土曜授業等実施事業)	<p>アグリライフ系列の生徒が製造した野菜や花等の農業生産物及び加工品をビジネス系列の生徒が販売し、地域との交流を重ねることで、生徒の学習効果と人間力を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年6回開催。(5月、6月、7月、8月、10月、12月)</li> <li>・日野町を中心に、日野郡全3町に出店。</li> <li>・参加生徒は、ビジネス系列とアグリライフ系列の生徒</li> </ul>
	出会い！発見！農業チャレンジャー事業	地域農業の現状を見学し体感することで、農業への理解を深めたり、農業経営者・農業関連産業事業者との意見交流を行うことで、生徒の進路選択の一助とする。
	地域と繋がるスポーツ・芸術事業	<p>授業や部活動において学んだ技能等を、小学校、中学校及び地域へ還元することで、地域貢献を行うとともに、当該活動を通じて生徒の自尊感情や自己有用感を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトテニスを通じた小学生との合同練習や合同対戦試合</li> <li>・地域の中学生との合同の吹奏楽講座及び演奏会</li> <li>・保育所、高齢者施設又は障がい者施設への実習及び訪問演奏</li> </ul>
	花を通じた地域交流	アグリライフ系列の生徒が栽培した草花を地域の方々との共同作業をしながら、地域の病院や役場、駅に植栽し、植栽方法や管理方法についての説明も行う。
	地域食材を生かした魅力創造プロジェクト	日野郡の食材を調査し、歴史・産業・観光などに関連した商品開発を行う。また試作品を地域の事業所にプレゼンテーションし、地域と連携しながら商品化する。

## ふるさと教育の実施状況について

### 【私立中, 高等学校】

学校名	ふるさと教育実施状況	平成 29 年度実績
青翔開智中学校	<p>① 中学 1 年・総合学習 鳥取市に美術館を創ろうというテーマでプロジェクト学習を実施。鳥取市内のどのエリアにどのような内容の美術館を建てるかを企画。鳥取銀行による収支計画授業や鳥取県立博物館長の講演会も実施。優勝チームとなった「鳥取城美術館」の企画を駅前のギャラリーそら様で一日オープン。</p> <p>② 中学 2 年・総合学習 課題解決型職場体験を実施。訪問先企業の課題を生徒達が自ら発見し、課題を解決するアイデアを社長へプレゼンする。泊綜合食品様に提案した「カラフルらっきょう」は実際に商品化され話題となった。</p> <p>③ 中学 3 年・総合学習 SDGs を切り口に鳥取の社会課題を解決する。チームごとに SDGs に直結するテーマを決定し、地域の社会課題を解決するプロジェクトを進める。</p> <p>④ 中学 2 年・技術 稲葉幼稚園、かんろ保育園にふさわしい木工椅子を作ることをテーマにプロジェクト学習を実施。</p> <p>⑤ 中学 3 年・技術 大丸屋上の「まるにわ」に置くためのプランター植栽企画を実施。 大丸様へフィールドワークし、企画した植栽を学校で育成。まるにわに持ち込み関係者へプレゼンを実施。</p> <p>⑥ 中学 1 年・道徳 鳥取県立鳥取盲学校とコラボしフロアバレーの授業を実施（計 8 コマ）。鳥取県立鳥取盲学校とコラボし手話の授業を実施（計 5 コマ）。</p> <p>⑦ 中学 1 年・理科 地域の防災避難計画の作成。日本海新聞の記事や鳥取県のホームページから鳥取県中部地震の情報をもとに避難計画を作成した。</p> <p>⑧ 中学 1 年・社会 縄文土器と弥生土器の違いについて埋蔵文化財センターにて本物の土器の破片の観察を行った。</p>	<p>① 中学 1 年 42 名が 10 チームに分かれて実施。期間は 1 年間。 *H30 年度は星取県とコラボ。星に関する施設・イベントを企画中。</p> <p>② 中学 2 年生 42 名が 10 チームに分かれて実施。訪問先企業は鳥取青年会議所様が選定。期間は 4 月から 10 月。職場体験は 5 月中旬に 2 日間実施し、その後学校の総合学習の時間を使って提案モデルを構築。</p> <p>③ 中学 3 年生 32 名が 8 チームに分かれて実施。実施期間は 1 年間。</p> <p>④ 中学 2 年生 42 名が 10 チームに分かれて実施。実施期間は 1 年間。 *H30 年度は公立鳥取環境大学をテーマに椅子を作成中。</p> <p>⑤ 中学 3 年生 32 名が 8 チームに分かれて実施。実施期間は 4 月から 10 月。</p> <p>⑥ 中学 1 年 42 名。</p> <p>⑦ 中学 1 年 42 名。4 人 1 チーム（1 家族と想定）</p> <p>⑧ 中学 1 年 42 名。</p>
湯梨浜学園中学校	<p>○中 1 華道体験：地元の華道の先生から華道指導を受ける。</p> <p>○中 2 職場体験：地元企業にインターンシップを行う。</p> <p>○中 2・高 1 茶道体験：地元の茶道の先生から茶道指導を受ける。</p> <p>○中 3 卒業研究：地元の話題・課題について中 1 からテーマ選択して中 3 にて報告会を行う。</p> <p>○中学キャリア教育講演会：本校保護者（地元で勤務）に職業観を講演していただく。</p>	<p>○中 1 華道体験：1 年生 34 名が参加した。（10/30）</p> <p>○中 2 職場体験：2 年生 24 名が参加した。（7/24～28）</p> <p>○中 2・高 1 茶道体験：中 2 年生 24 名、高 1 生 25 名が参加した。（10/31）</p> <p>○中 3 卒業研究発表会：中 3 生 22 名が参加した。（3/10）</p> <p>○中学キャリア教育講演会：中学生 80 名が参加した。（12/9）</p>
米子北斗中学校	<p>○中学校 2 年生～企業見学 （平成 30 年度より） 今年度は王子製紙を見学</p>	

学校名	ふるさと教育実施状況	平成29年度実績
鳥取敬愛高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県民の日パネル展示（遠藤董）</li> <li>○郷土の人物を教材として授業</li> <li>○公民館でのボランティア活動を通して交流活動（地区運動会・公民館まつり等）</li> <li>○県内企業の魅力体験事業 今井航空機器工業、鳥取信用金庫</li> <li>○鳥取市企業見学会（紳士服製造 グッドヒル）</li> <li>○社会部 郷土研究活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○9/5～12 展示</li> <li>○授業 2年生2クラス（9/12）</li> <li>○文芸部、茶道部ほか 約20名</li> <li>○1・2年 70名</li> <li>○就職希望者 25名</li> </ul>
鳥取城北高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「総合的な学習の時間」授業（普通コース1年） 「企業キャンパスツアー」 生徒の進路希望に合わせて地域の保育園、病院、企業、大学等を学年挙げて訪問</li> <li>「商店街FW」 商店街に出向き課題を見出し解決するためのアイデアをブラッシュアップ など</li> <li>○「家庭」授業 授業で茶道を行っており、そこで学んだことを活かした茶席を地域のイベント等で開催</li> <li>○書道部「公民館主催のまつりにおける書道パフォーマンス披露」 公民館、まちづくり協議会の依頼を受け、書道パフォーマンスを披露。また、地域の方が参加する「自分たちの住む地域の好きなどころ」をテーマにした寄書きパフォーマンスも実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「総合的な学習の時間」授業 ・1年生160人が参加（6月）</li> <li>・1年生160人が参加（10月）</li> <li>○「とっとりえきなか・えきまえGWフェスタ2017」3年生60名参加（4/29）、「第8回鹿野街道まつり」3年生60名 など</li> <li>○「城北文化祭（城北地区公民館）」 1, 2年生15名が参加（10月21日）</li> <li>・「醇風地区ふれあいまつり」 1, 2年生15名が参加（11月5日）</li> </ul>
青翔開智高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①高校1年・総合学習 【H30年度実施】鳥取県の人口減少で生じる課題をAIを使って解決する。市内へフィールドワークを実施して課題発見を行い、課題の解決方法にAIの原理を入れアイデアを構築する。鳥取県産業振興課、鳥取大学からの協力もありAIのプロトタイプ作成も実施予定。</li> <li>②高校1年・英語 【H30年度実施】公立鳥取環境大学から出張英語村を招き、生徒とのディスカッションを実施。（9/4台風により延期）</li> <li>③高校1年・現代社会 鳥取県に住むこと、都会に住むことどちらにメリットがあるか。ファイナンシャルプランナーを講師にむかえ講演会を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 高校1年生37名が9チームに分かれて実施。実施期間は1年間。</li> <li>② 高校1年生37名。2コマ。</li> <li>③ 高校1年生42名。2コマ。</li> </ul>
倉吉北高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インターンシップ 地域企業での職業体験</li> <li>○高校生レストラン 地域住民の方を対象とし、生徒が企画運営まで行うレストラン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インターンシップ（2/14～16） 2年生（普通科健康総合コース）70名。</li> <li>○高校生レストラン 調理クラブが運営 1/20、3/3実施</li> </ul>
湯梨浜学園高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高1保育実習：地元の保育園に出向いて保育体験を行う。</li> <li>○中学地域清掃：地元の清掃を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高1保育実習：高1生25名が参加（2/16）</li> <li>○中学地域清掃：中学生80名が参加（6/14）</li> </ul>
米子北高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校外地域清掃活動 生徒会が企画して本校生徒が学校周辺地域をゴミ拾いを中心に清掃活動を行う。</li> <li>○皆生トライアスロンボランティア（第1回大会より参加）</li> <li>○米原祭参加 米原公民館主催の行事に吹奏楽部が出演し、地域の方々へ演奏を披露する など</li> <li>○幼稚園サッカー教室 本校サッカー部員が幼稚園へ出かけていき、サッカーを通じて園児と触れ合う。</li> <li>○福米公民館祭、福米東地区運動会参加 看護専攻科生がボランティアで医務業務の手伝いを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校外地域清掃活動 本校希望生150名参加（9/25）</li> <li>○第37回皆生トライアスロンボランティア 130名の希望生が参加</li> <li>○米原祭参加 吹奏楽部が参加し演奏（7/23）</li> <li>○東みずほ幼稚園 25名参加（6/30）、みずほ幼稚園 25名参加（11/23）、大山青年の家イベント 25名参加（4/30）など</li> <li>○福米公民館祭、福米東地区運動会参加 本校看護専攻科生2名ずつ参加</li> </ul>

ふるさと教育の実施状況について

【高等教育機関】

学校名	ふるさと教育実施状況	平成 29 年度実績
公立鳥取環境大学	<p>○地域志向科目の充実 実際に地域に出かけ、地域の人々と関わり、実践的な問題発見・解決力を養う「プロジェクト研究」を行い、その中で特に鳥取県東部地域をフィールドとする「麒麟プロジェクト研究」を実施。</p> <p>○「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」 鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取短期大学、鳥取看護大学および国立米子工業高等専門学校が連携し、地域に愛着を持つ地域指向の人材育成、卒業生の県内就職や地域定着を図る取組を実施。</p> <p>○「岩美むらななキャンパス」開設(H30.4) 岩美町大谷に、岩美むらななキャンパスを開設し、岩美町において、地域研究や地域活動の拠点利用を促進。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学生が2年次までに地域連携型の課題に取り組む「プロジェクト研究」、全学生が履修する「鳥取学」を開講。</li> <li>・10月25日、鳥取環境大学において、知事講義を実施し、約350名が受講(タイトル「小さくても勝てる鳥取県の挑戦」)</li> <li>・とっとりインターンシップ参加学生数は、夏季休暇中に54名(H28 19名)、春季休暇中は15名(H28 20名)と平成28年度から倍増。</li> <li>・人間形成教育科目「基礎インターンシップ」、専門科目「インターンシップ」を開講。</li> <li>・「キャリアデザインB」において、外部講師を地元の企業等から招聘。</li> <li>5/12 鳥取市職員、5/26 株式会社鳥取銀行行員</li> <li>6/9 寿製菓(株)社員、6/23(株)小銭屋社長 等</li> <li>・「地域金融ビジネス」において、外部講師を地元の金融機関等から招聘。</li> <li>6/7 鳥取信用金庫、6/21 とりぎんリース(株)</li> <li>6/28(株)エヌケーシー、7/5 とっとりキャピタル(株)</li> <li>7/12 鳥取県信用保証協会、7/19 鳥取県企業支援課</li> </ul>
鳥取大学	<p>○「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」 鳥取大学が中心となり、公立鳥取環境大学、鳥取短期大学、鳥取看護大学および国立米子工業高等専門学校が連携し、地域に愛着を持つ地域指向の人材育成、卒業生の県内就職や地域定着を図る取組を実施。</p> <p>○地域志向教育科目の推進 授業形式の改善、新たな教材開発に取り組むとともに、平成29年度以降入学する全学生に選択必修化するなど、地域志向教育科目の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とっとりインターンシップ参加学生数は、平成28年度284人であり、平成29年度の「とっとりインターンシップフェスティバル」には約300人が参加。</li> <li>・県内企業との共同研究に学生が参加する。「学生参加型共同研究支援事業」には、平成28年度は10件、平成29年度は8件採択。</li> <li>・県内企業見学シャトル便を運行し、37社、186人が利用。</li> </ul>
鳥取短期大学 鳥取看護大学	<p>○県内インターンシップ、マッチングの実施 インターンシップ科目、ビジネス、栄養、保育等、各専門分野の実習等を通じ、仕事や職場に対する理解を深め、学科別キャリアガイダンス、「保育学生のための職場説明会」などを通じ、県内就職意欲の向上、就職に繋げる。</p> <p>○地域志向科目の実施 教養科目「現代鳥取学」で地域課題と解決方法の理解を深め、専門科目で地域と連携し教育活動を展開。</p> <p>○「まちの保健室」の実施 鳥取看護大学生がボランティアとして、地域住民および関連組織等との関わりを通して、看護実践する力、地域とともに歩む力を身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月12日、中部で活動する企業関係者をパネリストに迎え、COC+セミナーを開催。(約60名参加)</li> <li>・地域志向科目350名、キャリア科目350名、インターンシップは565名が参加。</li> <li>・「まちの保健室」は、毎年全看護学生が参加し、中部地震後の災害ボランティア「まちの保健室」in倉吉市役所など学生の主体的な地域活動が展開。</li> </ul>
米子工業高等専門学校	<p>○オープンファクトリーの実施 本科低学年(1~3年生)の学生向けのプレインターンシップとして、身近な地元の企業を見学し、業務内容の理解や仕事における心構え等を学ぶ。</p> <p>○企業ガイドブックの発行 米子高専振興協会会員企業を紹介する「企業ガイドブック」を発行し、本科3・4年生および専攻科1年生に配布し、学生の地元定着への意識醸成を図る。</p> <p>○地域協働教育、地域協働型インターンシップの実施 間伐材や空き家の活用を題材とした地域指向型の創造性教育を実践。</p> <p>また、地域の企業技術者を講師として招聘し、地域企業における仕事と技術に関して理解を深める授業を実施し、本科4年生と専攻科1年生は夏休みにほぼ全員がインターンシップに参加。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年1月13日、「米子高専生のための進路研究セミナー」を米子コンベンションセンターBIG SHIPで開催し、260ブース、本科3・4年生、専攻科1年生及び保護者の計339名が参加。</li> <li>・米子高専COC+技術セミナーとして、「iOSアプリケーション開発入門」(12月17日)等を実施。</li> </ul>





## 次期『鳥取県の「教育に関する大綱」』の方向性について (案)

平成30年9月10日  
とっとり元気戦略課

## ＜教育大綱の方向性＞

- PDCA サイクルを毎年回す現在の構成（第一編、第二編（毎年改訂））を継承  
第一編「中期的な取組方針」、第二編「重点取組施策、数値目標」といった二部構成とし、第二編は毎年改訂することでPDCA サイクルを回す現在の枠組みを継承。
- 県教育委員会が策定する「鳥取県教育振興基本計画」の内容を網羅  
県教育委員会が改訂作業を進めている次期「鳥取県教育振興基本計画(H31～H35)」(H31.3月策定予定)の取組の方向性などについて、基本的に、すべて教育大綱に反映。
- 社会状況の変化や本県教育の現状、課題等を踏まえて取組方針を設定  
若者の県外流出など社会状況の変化をはじめ、学力の伸び悩みや学習指導要領の改訂、高大接続改革など本県教育の現状、課題等を踏まえて中期的な取組方針を設定。

## 社会状況の変化

- 少子高齢化の進展と若者の県外流出など本県における人口減少  
・2040年県推計人口(国立社会保障・人口問題研究所) 472,159人(2017年比較:▲93,074人)  
・本県における10代・20代の転出超過数の増加  
H28:▲1,298人 → H29:▲1,315人
- AI や IoT 等の技術革新による高度情報化の進展  
・今後10～20年後、現在の職業の約半分がロボット等により代替可能との予測(2013年オックスフォード大学)
- 外国人観光客の増加、県内企業による海外展開など本県経済のグローバル化  
H29外国人観光客数 140,530人(過去最多)

## 本県教育の現状・課題等

- 全国学力・学習状況調査の結果、各教科の平均正答率が全国平均を下回ってきている。
- 子どもたちの地域に対する関心が全国平均を下回っている。  
・地域や社会の問題・出来事に関心がある。  
本県:62.1%(H29) 全国平均63.8%(H29)
- 不登校の増加  
・H29不登校出現率:小学校で7年連続上昇(H29:0.56%)、中学校で4年連続上昇(H29:3.13%)
- 学習指導要領の改訂や小学校の英語教科化(H32)、高大接続改革(H32)など国の教育改革

## 次期教育大綱の概要 (案)

- 対象期間:平成31年度(2019年度)から4年間
- 構成:第一編(中長期的な取組方針)、第二編(重点取組施策、数値目標)  
※第二編の数値目標は、今後策定される鳥取県教育振興基本計画との整合性を図る。
- 第一編(中長期的な取組方針)  
若者の県内定着・Uターン対策、少子化に伴う生徒減少、時代の変化に対応できる教育環境整備の必要性などの観点から、『ふるさと鳥取』を支える人材の育成、『時代や社会の変化に対応できる教育環境の充実』を新たに柱建てし、取組の充実・強化を図る。
  - (1) 学ぶ意欲を高める学校教育の推進  
～全国に誇れる学力を目指す学びの質の向上～
  - 【新】(2) 「ふるさと鳥取」を支える人材の育成  
～郷土への愛着と誇りを醸成するふるさと教育の推進～
  - 【新】(3) 時代や社会の変化に対応できる教育環境の充実  
～時代の変化に対応し、安全・安心に学べる教育環境づくり～
  - (4) 一人ひとりのニーズに対応した特別支援教育の充実  
～個々の障がいの種類や程度に応じた教育の提供～
  - (5) スポーツ・文化の振興  
～運動・スポーツに親しむ環境づくり、文化・伝統の継承、創造、再発見～
- 第二編(重点取組施策、数値目標)  
平成31年度当初予算の状況を踏まえて検討・設定する。

## 教育大綱の改訂に向けたスケジュール (案)

- H30.9月 総合教育会議における次期大綱の方向性(案)の提示
- H31.1月 総合教育会議における次期大綱(素案)の提示
- H31.6月 総合教育会議における次期大綱(最終案)の提示
- H31.7月 次期「鳥取県の『教育に関する大綱』(H31から4年間)」の策定

## 次期教育大綱の中長期的な取組方針(案)と主な取組例

### ① 学ぶ意欲を高める学校教育の推進 ～全国に誇れる学力を目指す学びの質の向上～

[拡] 学力向上対策(学力向上推進PTの検討結果を踏まえた取組)、小中一貫教育・幼保小連携の推進、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進、教員の指導力の向上、[拡] グローバル化に対応した英語教育の推進(2020年度からの小学校での英語必修化への対応)、高大接続改革への対応、[新] プログラミング教育の推進など

### ② 【新】「ふるさと鳥取」を支える人材の育成 ～郷土への愛着と誇りを醸成するふるさと教育の推進～

[拡] ふるさと教育の推進(校種ごとの目標設定による小中高で一貫した体系の整備)、コミュニティ・スクールの導入促進、家庭教育の充実、自然体験活動等の推進、[拡] キャリア教育の推進(ICT人材の育成)、県内企業情報の確実な提供など

### ③ 【新】時代や社会の変化に対応できる教育環境の充実 ～時代の変化に対応し、安全・安心に学べる教育環境づくり～

[新] 少子化や時代の変化を踏まえた今後の県立高校の在り方の検討、[拡] いじめ、不登校防止対策(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの体制強化)、[新] 学び直しの機会の拡充、貧困の連鎖を断ち切る教育支援の充実、学校における働き方改革、学校施設の質的向上、学校の防災力強化、[新] 消費者教育の推進など

### ④ 一人ひとりのニーズに対応した特別支援教育の充実

～個々の障がいの種類や程度に応じた教育の提供～

障がい児への支援体制の充実、手話教育の推進、[新] 職場実習など職業教育の充実、特別支援学校生徒の職場定着の推進など

### ⑤ スポーツ・文化の振興 ～運動・スポーツに親しむ環境づくり、文化・伝統の継承、創造、再発見～

[拡] 体力・運動能力の向上策(地域人材の活用促進)、2020年オリンピック・パラリンピックに向けたトップアスリートの育成、文化芸術に親しむ環境づくり、県立美術館の整備推進など

## 鳥取県立美術館整備の検討状況について

平成 30 年 9 月 10 日  
博 物 館

### 1 鳥取県美術館整備基本計画の策定

アドバイザー委員会での意見、さらには県内文化団体や地域団体等の意見、県民や県議会の意見等を踏まえながら検討を進め、平成 30 年 3 月に、美術館の整備・運営手法以外についての考え方を整理し、基本計画（中間まとめ）としてとりまとめた。

また、5 月には、「鳥取県 PPP/PFI 手法活用の優先的検討方針」による「県有施設・資産有効活用戦略会議」で、民間の経営ノウハウや資金の活用による PFI・BTO 方式を導入するとの検討結果が示されたことから、その結果を盛り込んで、7 月に鳥取県立美術館の整備基本計画を策定した。

#### 《新美術館の目的・コンセプト》

- 未来を「つくる」美術館
  - ・人を「つくる」
  - ・まちを「つくる」
  - ・県民が「つくる」

#### 《新美術館の事業展開の特色》

- 次代を担う子ども達の想像力・創造性を育むための「美術を通じた学び」の支援  
(美術ラーニングセンター(仮称)の設置)
- 県内どこでも美術館のサービスが享受できる環境づくり、県外への情報発信力の強化  
(鳥取県ミュージアム・ネットワークによる連携)
- 様々な人が気軽に訪れ、出会い・学び・楽しみ・触れ合うことができる多様な利用と賑わいの創出

#### 《新美術館整備の概要》

- 建設場所 倉吉市駄経寺 2 丁目 3 - 4 外
- 敷地面積等 22,060㎡ (建ぺい率 80%・容積率 400%)
- 特徴
  - ・全県から集まりやすく、美術館側からも各地域へのアウトリーチ活動が行いやすい。
  - ・観光施設や文化施設等と連携しやすい。

#### ○施設の整備概要

展示	収蔵	教育普及・ コミュニケーション	調査研究	共用管理 事務	合計
2,610㎡	2,070㎡	760㎡	290㎡	4,180㎡	9,910㎡

#### ○整備費用の想定（従来型の場合の試算）

項目	試算額	(参考) 基本構想における試算
建築工事費	77億円	60~100億円
その他経費 ※	20億円	—

※外構植栽サイン、設計委託、展示ケース等備品類、展示用 ICT 機器・音響・ディスプレイ等

#### ○整備運営手法等

##### ・PFI 手法 (BTO 方式)

\*BTO: Build-Transfer-Operate の略。民間事業者が公共施設等を建設し、施設完成直後に公共に所有権を移転し、民間事業者が維持管理・運営を行う手法。

#### 【官民の役割分担】

- ・ 管理部門（総務・施設管理等）については、民間事業者に委ねる。
- ・ 学芸部門については、
  - 美術作品の収集、保存、調査・研究、展示、教育普及等を中心とする。
  - 中核業務（主に学芸員が担う業務）は県業務として引き続き実施することとし、
  - 広報・宣伝・賑わい創出機能等については、県と連携することを前提に民間事業者  
に委ねる。

#### 【契約期間】

施設の大規模修繕、民間事業者の資金調達及び県の財政負担等を勘案し、今後検討を進める。

## 2 機運醸成・普及啓発の取組み

### (1) 美術を通じた学び

#### ① デジタル鑑賞コンテンツの試行

- ・ 10月6日から県立博物館で開催する企画展「土方稲嶺（ひじかた とうれい）-鳥取画壇の祖-」  
に出品する作品を利用し、デジタル鑑賞コンテンツ「Walk View（ウォークビュー）」を制作、学  
校招待事業の事前授業で試行する。

#### ② 学校招待事業

- ・ 企画展「土方稲嶺」の会期中に、県内の小学校7校を招待する。（約350人予定）

#### ③ 教員研修での専門講座

- ・ 県教育センターと連携し、小学校・義務教育学校の新採教員2年目研修において、図工や美  
術の授業だけでなく様々な教科の授業づくりにも活かすことを目的とし、美術作品の鑑賞を  
通して感性や想像力が働くことを体感した後、エキスパート教員による鑑賞授業の研修を実  
施した。（7月30日、約70人参加）

### (2) 鳥取ミュージアム・ネットワークによる連携

- ・ 美術館等協力連携計画に基づき、県内の美術系文化施設8館に所属する学芸員等が、企画展  
のレクチャー・情報交換を行うとともに、ICTを活用したデジタルアーカイブ化の検討を進  
めている。

### (3) 県民の機運醸成

#### ① 美術館づくりワークショップ「アートの種まきプロジェクト」

- ・ 美術館整備の進捗状況やイベント等を紹介するフリーペーパー等を制作予定。（9月29日、  
オープンミーティング実施予定）

#### ② ミュージアムサロン

- ・ 芸術・文化関係者等とのディスカッションを、八頭町「隼Lab.」、倉吉市「喫茶モダン」に  
て開催。（今後2回の開催を予定）

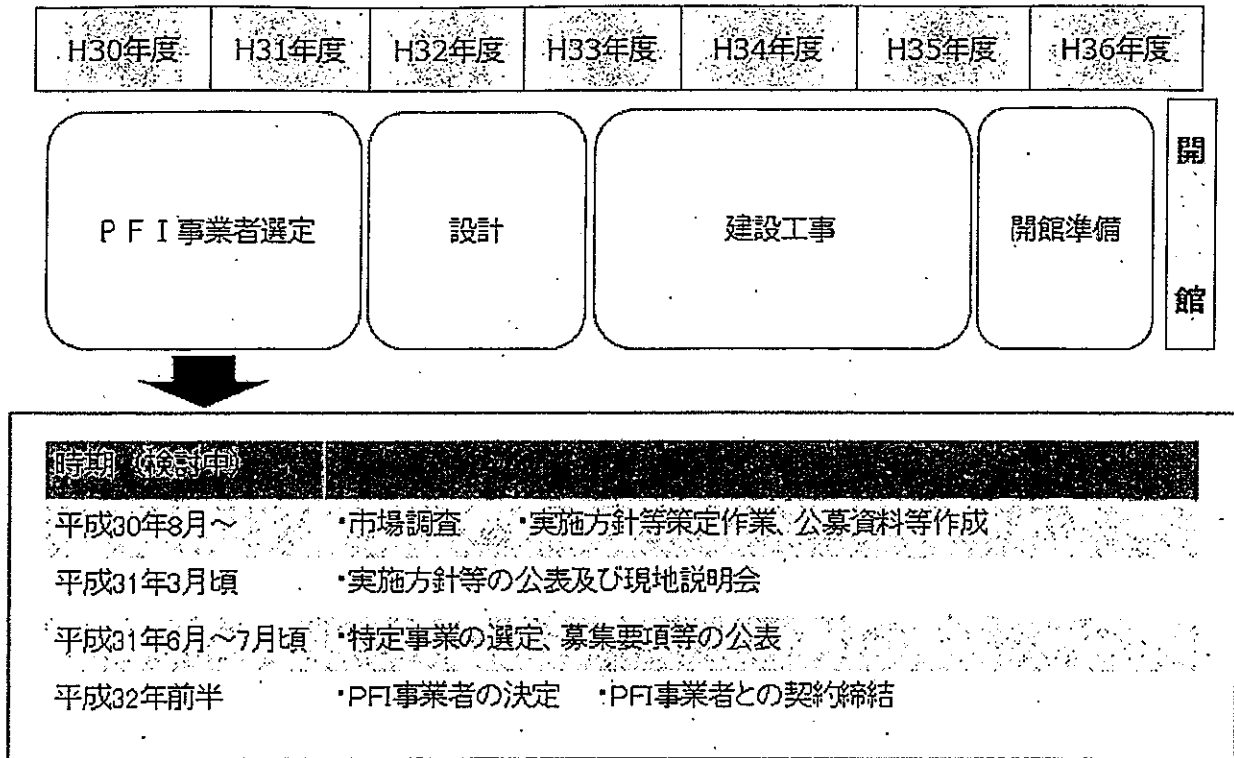
#### ③ コレクション宅配便

- ・ 倉吉淀屋、境港第三中学校等で、美術作品の展示・解説等を行い、今後さらに4回を予定。  
（9月12日岩美町「イタリアンストリ アルマレ」ほか、小学校2、中学校1）

#### ④ 県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会（中部地区の官民54団体で組織）

- ・ 今年度の総会が8月28日に開催され、県から美術館整備の検討状況を報告し、協議会の各  
部会から課題分野ごとの検討状況及び今後の進め方等について報告、協議を行った。
- ・ 今後も、美術館整備に関する情報共有、連携を図りながら対応していくこととしている。

3 今後のスケジュール (案)



《資料》

・「鳥取県立美術館整備基本計画」

